

目次

GAME MENU OPTION が表示されてゲームが出来ない	2
I / O 接続確認中と表示される	3
アウトボードが反応しない	5
カードリーダーセンサーが反応したまま	7
カードリーダー部分が光らない	10
カード読込不良	12
カメラが映らない	16
カメラ画像がチラつく	18
クレジットがあがらない (機械式コインセレクター)	19
クレジットがあがらない (電子式コインセレクター)	22
ゲームが選択できない	28
コインカウンター (メーター) が動かない	32
ネットワーク オフライン	36
フリーズ	40
モニター NO SIGNAL	41
リブート (再起動)	43
ルーターのエラー	44
音が出ない	48
起動しない モニターが映らない	50
起動時 Starting 100 で止まる	52
誤反応	53
時間がずれる	56
設定内容 (メモリー) が消える	57
通信対戦が出来ない	58
特定のゲームが出来ない	60
反応が遅い (矢が刺さってから 3 秒位かかる)	64
盤面 特定の箇所が光らない・色が違う	65
資料 ルーター・CTU	68
資料 EX-F (CVT) 改造時注意点	95

GAME MENU OPTION が表示されてゲームが出来ない

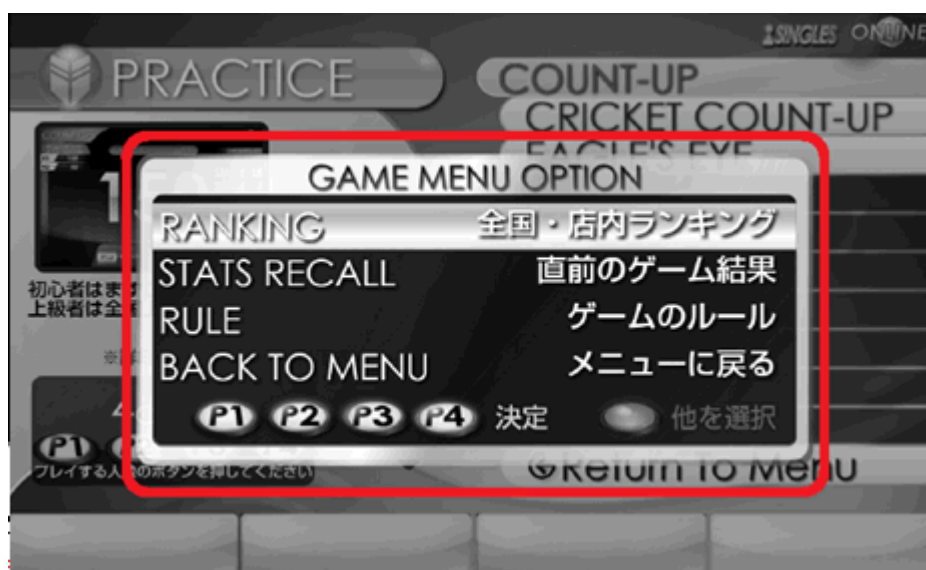
Rev. 2011/02/03.

対象; DL2 / DL1 シリーズ

不具合箇所; 盤面(ターゲット)周辺

症状; **GAME MENU OPTION** が表示されてゲームが出来ない
(サブメニュー画面で、盤面を押していないのに、
『GAME MENU OPTION』が表示されてしまい、ゲームスタート出来ない。)

写真; DL2 PRACTICE のサブメニュー上で『GAME MENU OPTION』が表示



対応; 盤面スタックの確認

1. **盤面で押しっぱなし(スタックセグメント)**になっているセグメントがないか確認。
2. テスト画面でスタック箇所を確認後清掃。

関連情報;

盤面にスタックセグメントがあると、

- ① メインメニュー表示では正常表示
- ② メインメニューからプラクティス等のゲームを選択すると
- ③ 上の『GAME MENU OPTION』が表示され、ゲームスタート出来なくなります。

操作を進めて行っても、この画面に戻ることを繰り返します。

DL1 もスタックセグメントがあると、同じような動作を繰り返すことになります。

I/O接続確認中と表示される

Rev. 2011/02/04.

対象; DL1、DL2 シリーズ
不具合箇所; I/O ボード
症状; 【I/O接続確認中】と画面に表示される。
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. I/O ボードと PC 間の USB ケーブルの接触不良、I/O ボード不良が疑われる。

1-1. 電源を一度落として、USB ケーブルの I/O ボード部分、及び PC 部分の抜き差しを行って、電源を再投入して下さい。

1-2. I/O ボードには4個の LED ランプがあり、USB コネクタ近くの LED ランプが『LED3 RED』と『LED4 GREEN』の点灯、基板中ほどの LED ランプは『LED2 RED』&『LED1 GREEN』の点滅状態が正常。（基板中ほど『LED1 GREEN』の点滅状態が重要）
ケーブルの抜き差しで直らない場合、及び、基板中ほどの緑 LED1 が点滅しなければ、I/O ボードの故障確率が高い。

『LED1 GREEN』 基板中ほどの LED ランプ

; I/O ボードのファームウェア起動状態表示で、電源投入すると1秒くらいで点滅開始。

『LED2 RED』 基板中ほどの LED ランプ

; PC との通信状態表示で、電源投入し PC の起動が完了くらいで点滅を始める。

『LED3 RED』 USB コネクタ近くの LED ランプ

; PC からの USB コネクタから、+5V の給電があれば点灯する。

『LED4 GREEN』 USB コネクタ近くの LED ランプ

; ダーツ機の電源装置（スイッチング）から、+5V の給電があれば点灯する。

写真 1; DL2DX・EX I/O ボードの LED 状態（正常）

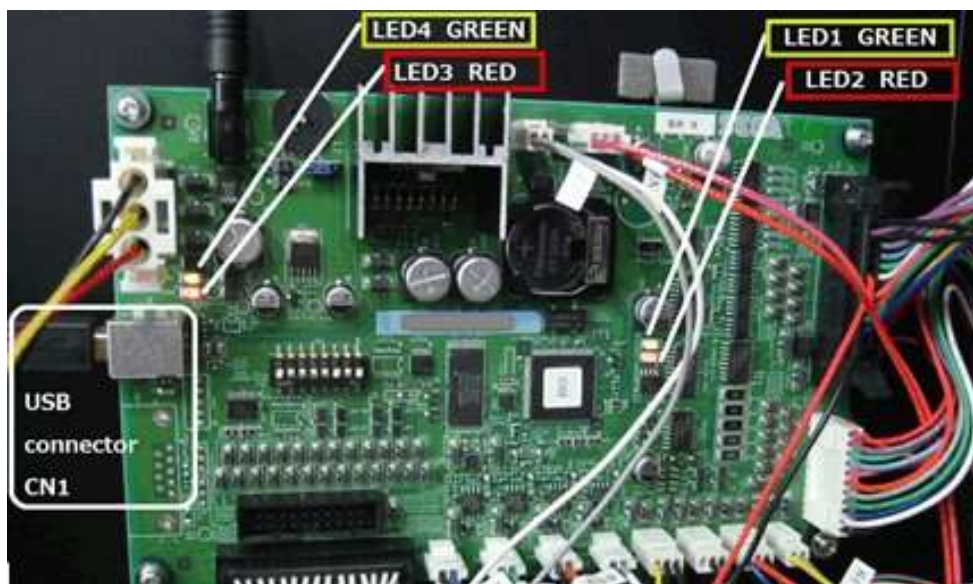
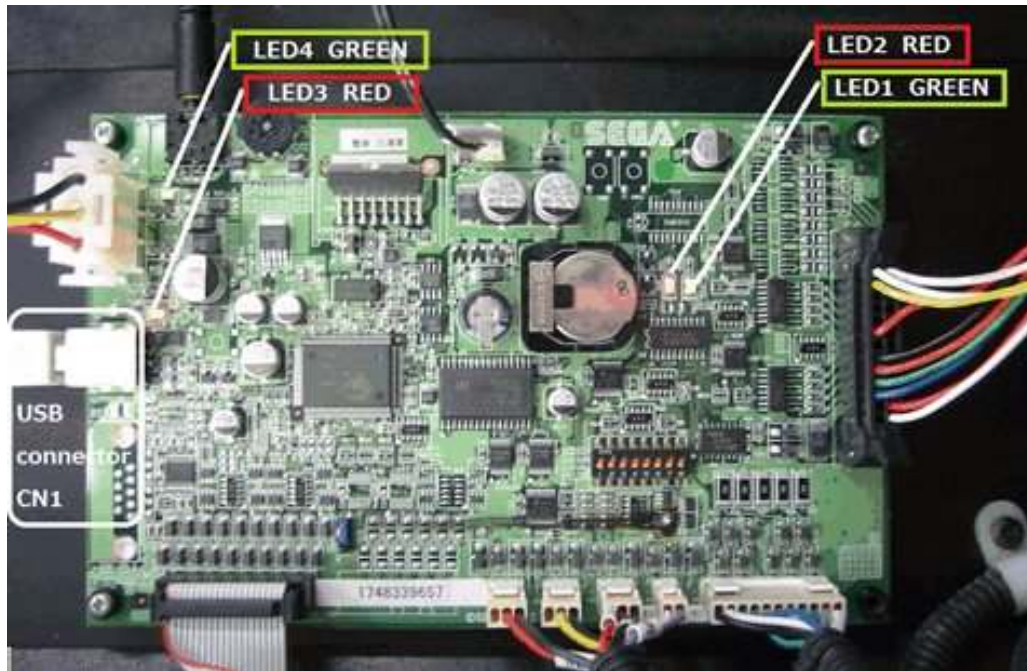


写真2; DL1 I/O ボードの LED 状態(正常)



2. USB ケーブル(I/O ボードと PC 間のケーブル)の断線が疑われる。

機械が2台以上ある場合は、正常稼動している台と USB ケーブルの交換をして正常動作するかを確認。

直った場合は USB ケーブルの不良。直らない場合は、下記『3』へ。

3. I/O ボード不良が疑われる。

配線ミスがないか**接続抜け**がないか、マニュアルを見ながら再確認を行うこと。

I/O ボードの IC 等の部品に焼けた跡や焦げた跡があったら、誤配線の疑いが濃い。

いずれにしても I/O ボードの交換を要する。

★明らかに誤配線による故障の場合は有償となる。

4. PC 不良が疑われる。

PC の USB ポート部分不良が疑われる。PC 交換を行う。

アウトボードが反応しない

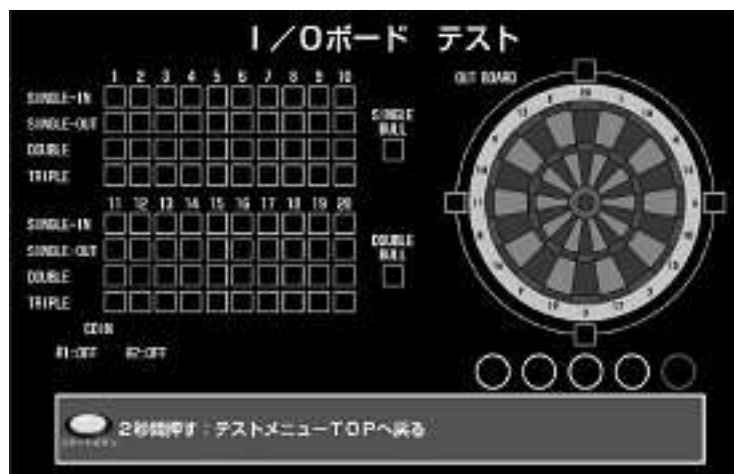
Rev. 2011/02/03

対象; DL2 DX・EX シリーズ
不具合箇所; アウトボードセンサー(ショックセンサー)周辺
症状; アウトボードに当たってもセンサーが反応しない。
対応; I/O ボード、配線、アウトボードセンサー異常?

I/O ボードにセンサーの**コネクタ(CN7・CN8・CN9・CN10)**が刺さっているか確認。

⇒ テストモードでI/O ボード テストを行い、反応しない箇所の確認し、
反応しない箇所の OUT BOARD センサー・配線をチェック。

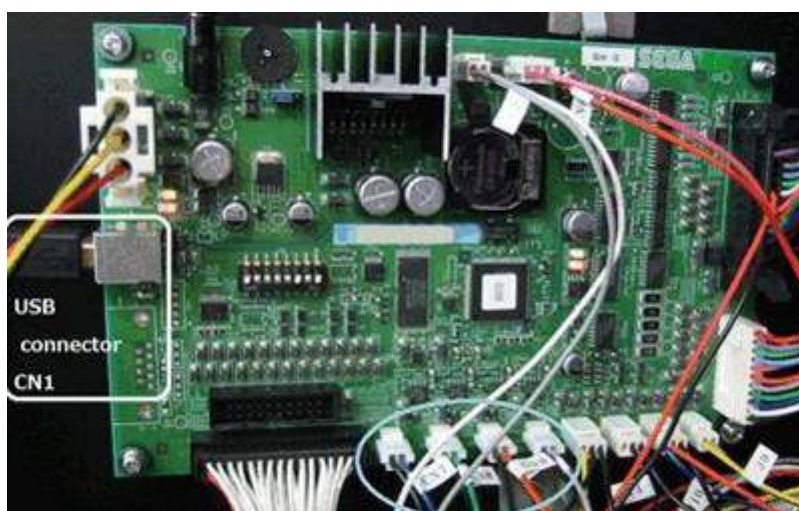
写真; I/O ボード テスト



⇒ コネクタの位置を変えてみて特定箇所だけ反応しない場合はI/O ボード異常

⇒ 差し替えて特定のコネクタが反応しない場合はセンサー異常か配線異常。

写真; I/O ボードのアウトボードセンサー対応**コネクタ(CN7・CN8・CN9・CN10)**



CN7-(2ピン) 線色; 黒・**青**

CN8-(2ピン) 線色; 黒・**緑**

CN9-(2ピン) 線色; 黒・**橙**

CN10-(2ピン)線色;黒・灰

図1; DX アウトボードセンサー位置 (ターゲットドアの裏側 4カ所)

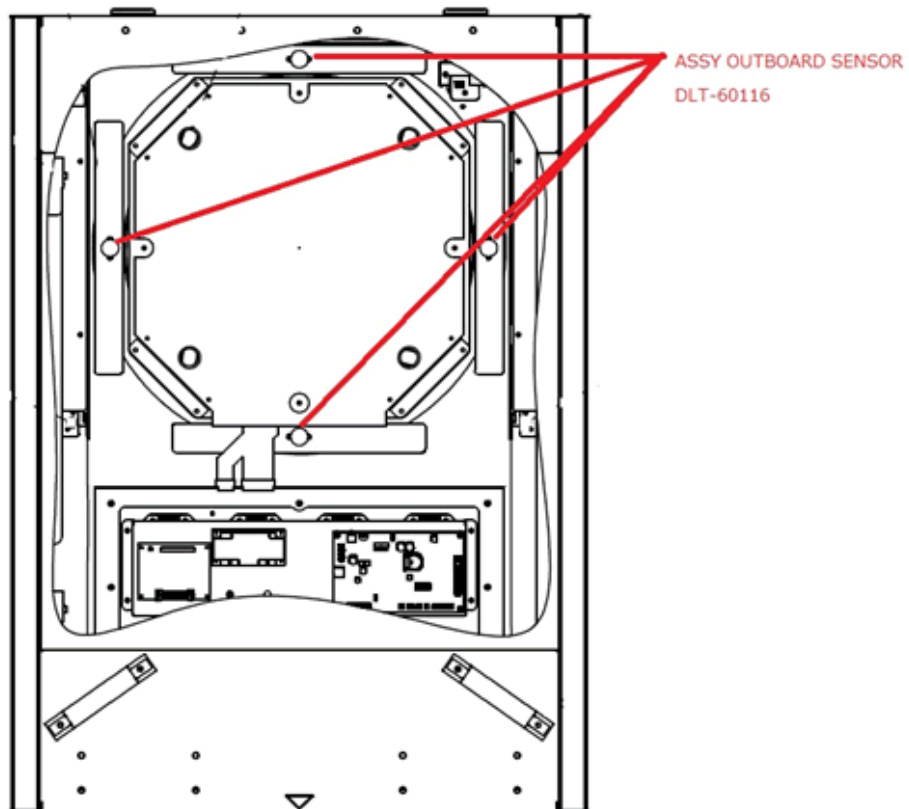
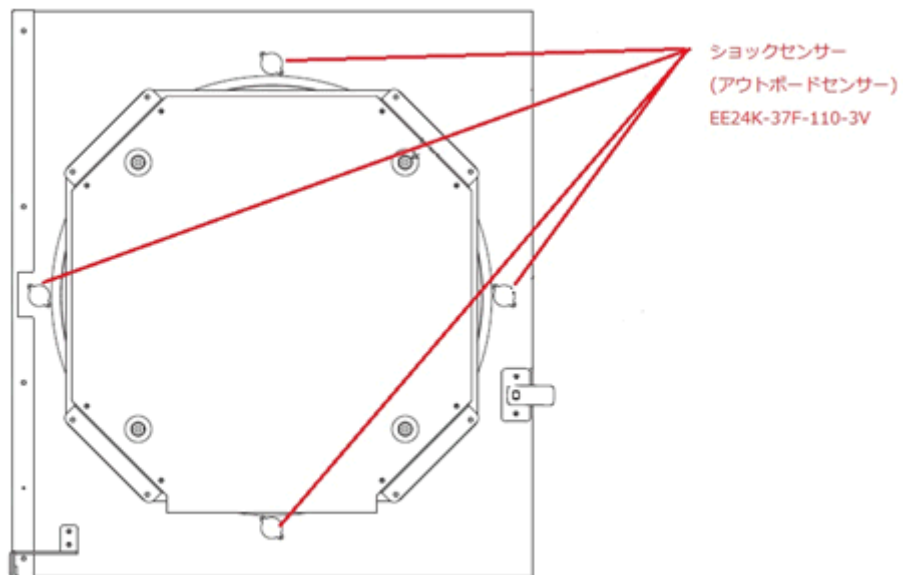


図2; EX;アウトボードセンサー(ショックセンサー)位置 (ターゲットドアの裏側 4カ所)



カードリーダーセンサーが反応したまま

Rev. 2011/02/03.

対象; DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所; カードリーダーセンサー周辺
症状; カードリーダーセンサーが反応したまま
対応;

1. 全箇所のカードリーダーセンサーが反応したまま

コネクタ接触をチェック。

2台以上ある場合は、制御基板にささっているハーネスを交換してみる。

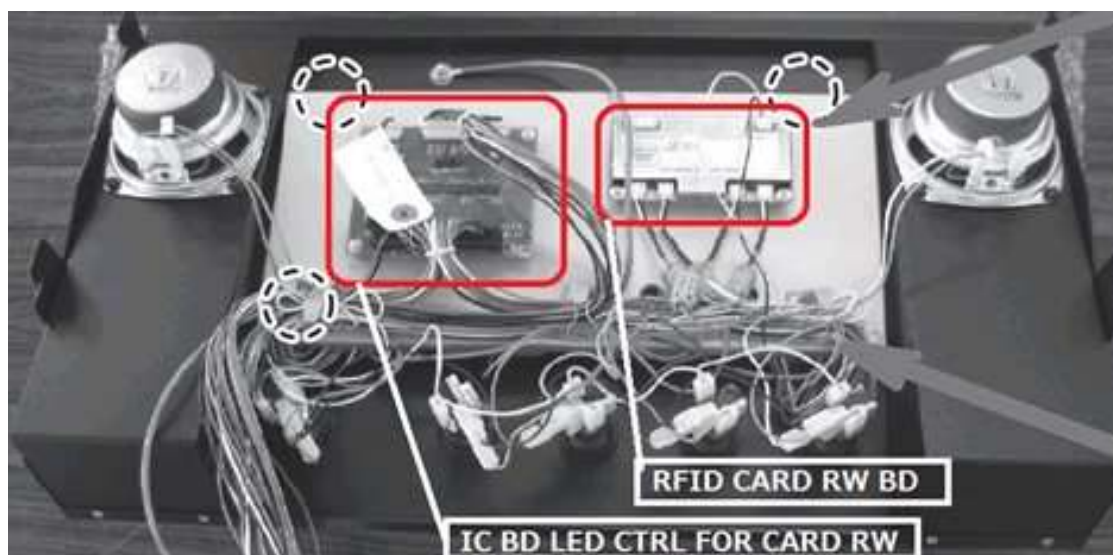
⇒ 症状が違う台に移った場合、ハーネスの断線等。

⇒ 移らない場合は制御基板不良。

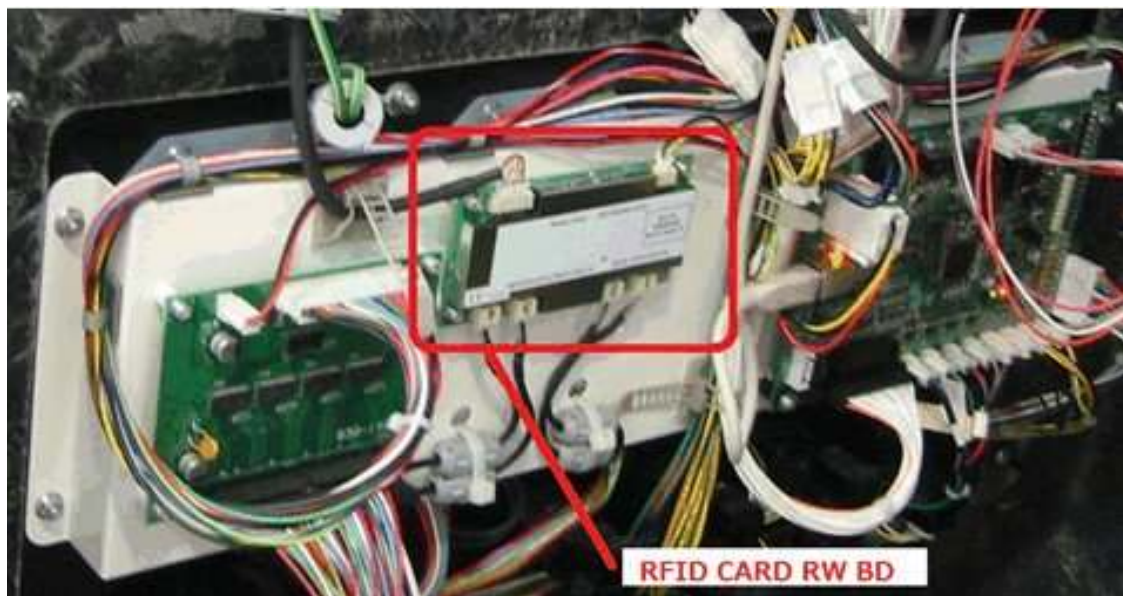
写真; DL2 カードリーダー制御基板



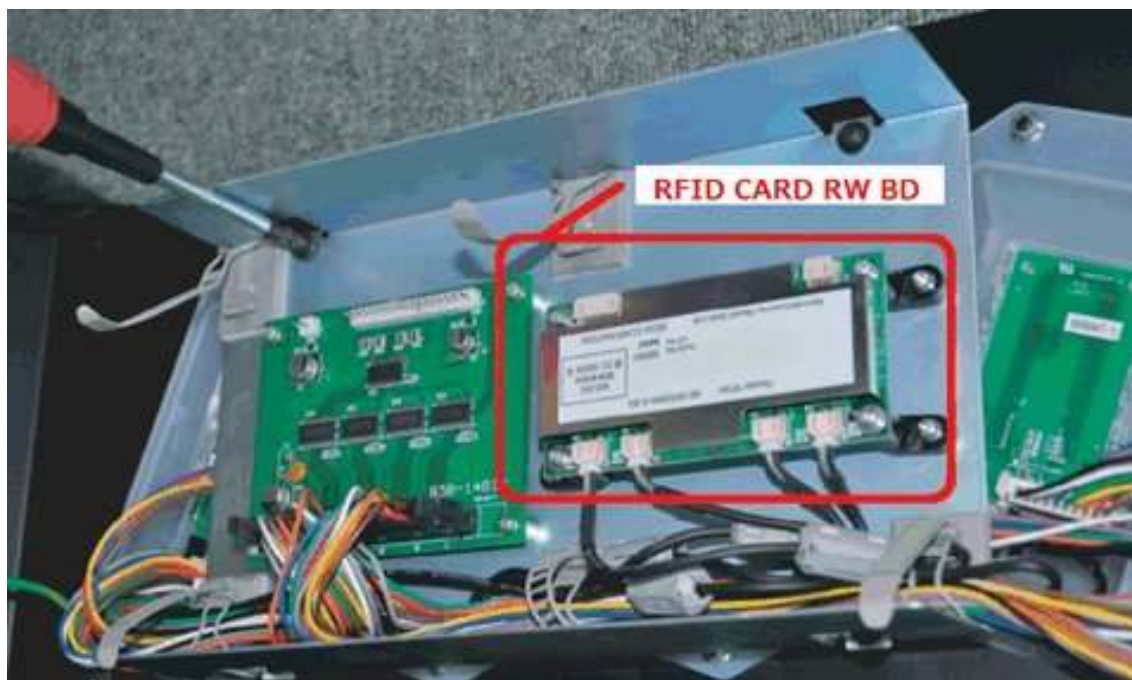
写真; EX コントロールパネル裏面



写真： DX コントロールパネル裏面



写真： EX-F カードリーダー制御基板



2. 特定箇所のカードリーダーセンサーが反応したまま

不良箇所のセンサー部の清掃をして反応をチェック。

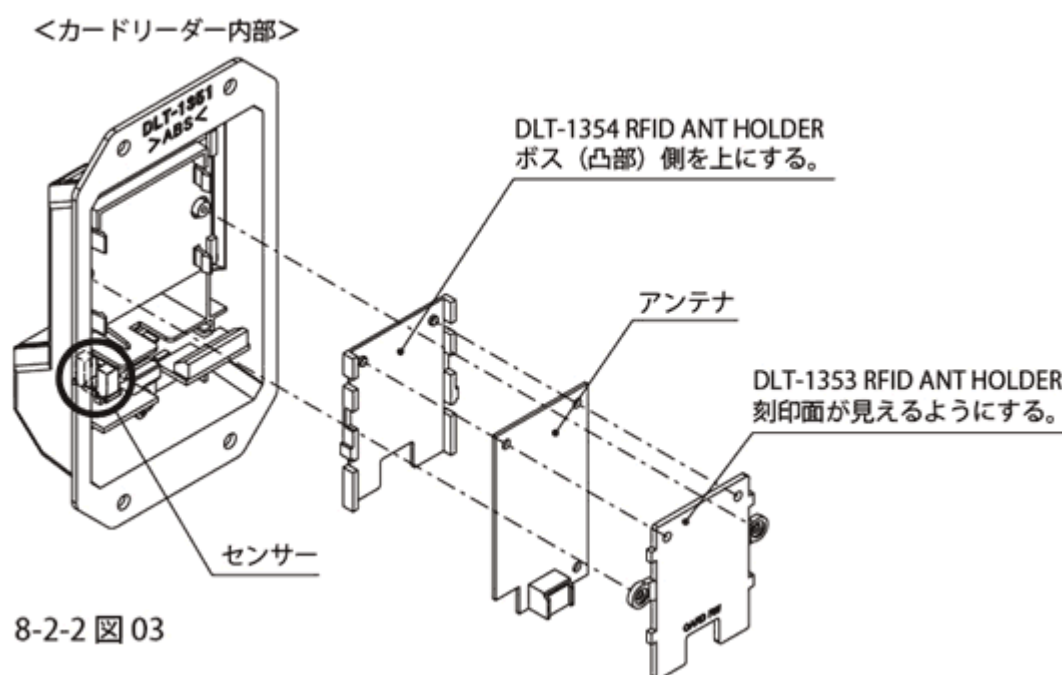
(清掃方法は取扱説明書;各機構部のメンテナンス;カードリーダーの項を参照してください。)

なおらない場合、2台以上ある場合は制御基板にささっているハーネスを交換してみる。

⇒ 症状が違う台に移った場合にはハーネスの断線等。

⇒ 症状が移らない場合はセンサー部の不良。

図; DL2 カードリーダー内部



カードリーダー部分が光らない

Rev. 2011/02/03.

対象; DL2 シリーズ全て
不具合箇所; カードリーダー周辺
症状; カードリーダー部分が光らない。
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. カードリーダーが光らない(全部)

配線まわり及び LED 制御基板異常?

カードリーダーがカードをちゃんと認識しているかの確認(カードリーダーテスト画面で確認)

⇒ カードを認識していた場合、LED テストでカードリーダーLED の点灯を確認しながら
カードリーダーLED 制御基板の配線まわりを確認。

配線が正常通電していれば制御基板の不良。

写真; DL2 カードリーダー制御基板



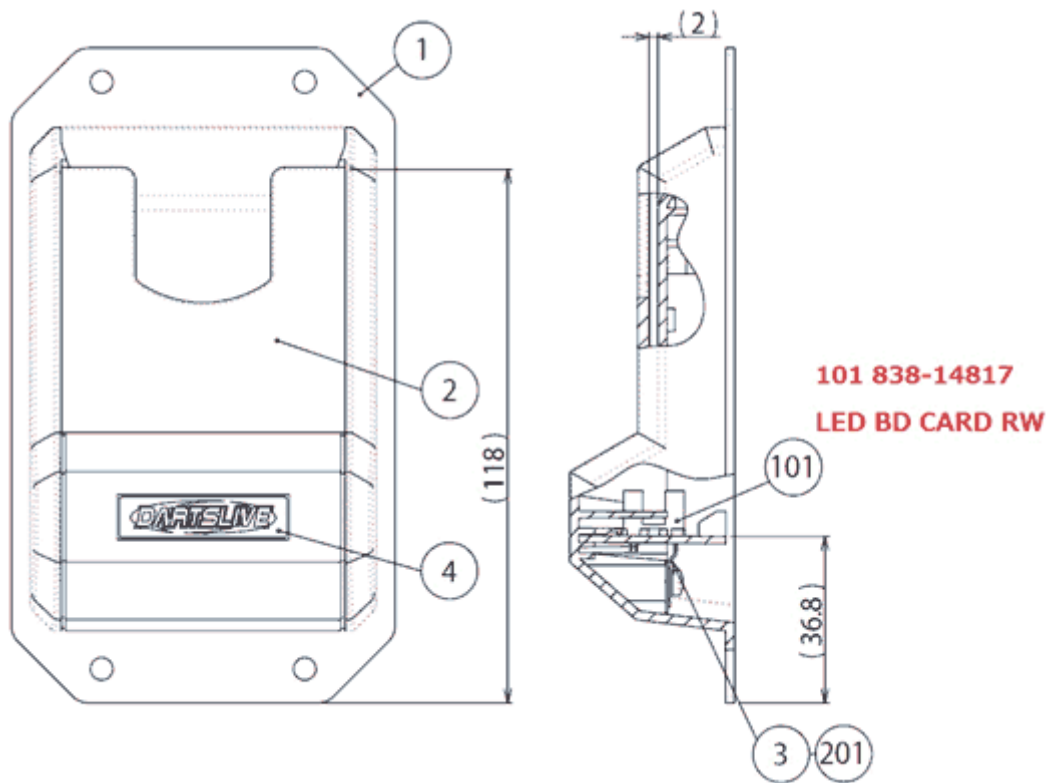
2. カードリーダーが光らない(特定箇所)

配線まわり及び LED 基板(LED BD CARD RW)異常?

特定箇所の配線まわりを確認。

⇒ 配線が正常通電している場合、特定箇所と正常箇所の LED を交換して点灯確認。
⇒ 入れ替えて不具合箇所が点灯するようになれば、入れ替え元の LED 不良。

図; DL2 カードリーダー 正面・側面図



カード読込不良

Rev. 2011/02/03.

対象; DL1、DL2 シリーズ全て (DL1 は一部分対象外)

不具合箇所; カードリーダー

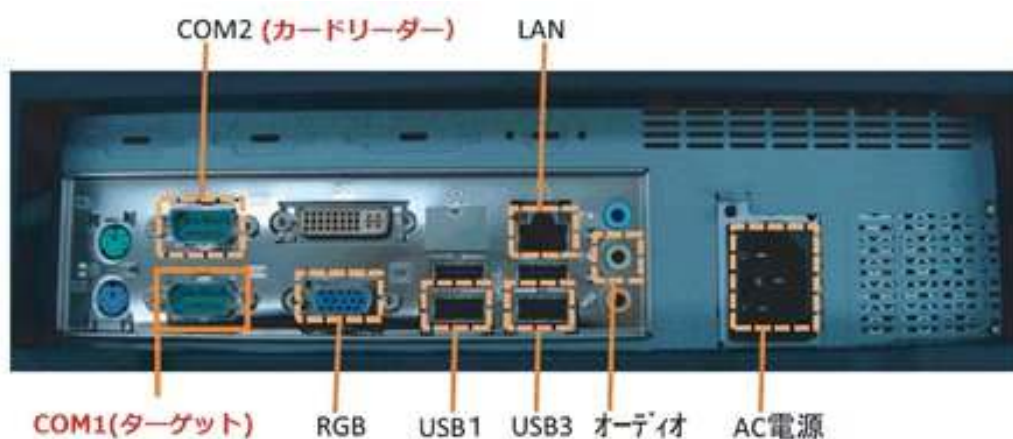
症状; カード読込不良

対応; 下記1番から順番に試して下さい。

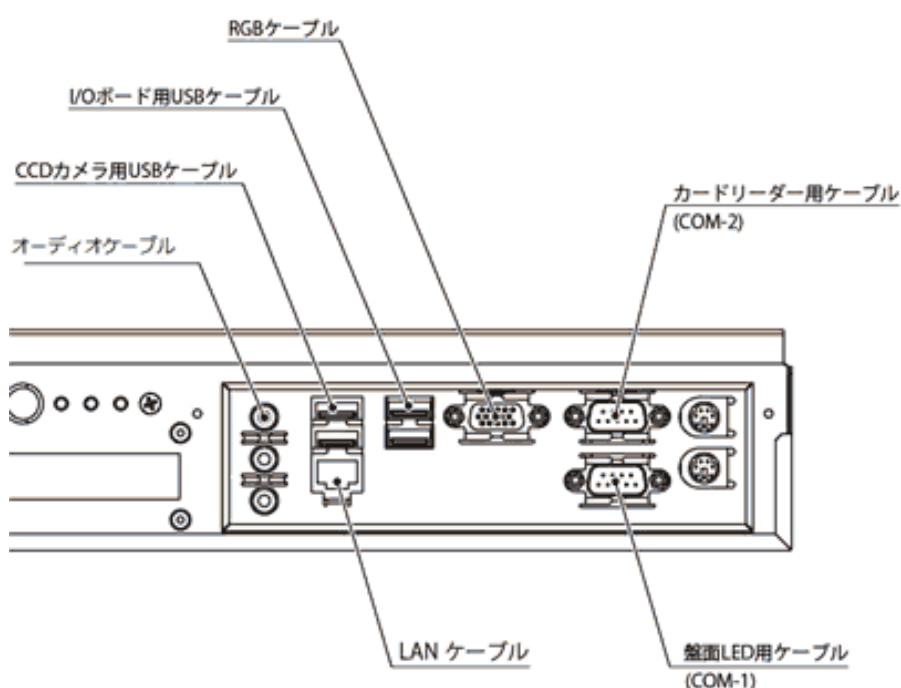
1. 接続ケーブル(DL2;RS-232C ケーブル、DL1;USB-CABLE)の確認)

設置直後なら、PC 側の COM1 (ターゲット LED)と COM2 (カードリーダー)の誤接続の可能性が高い。

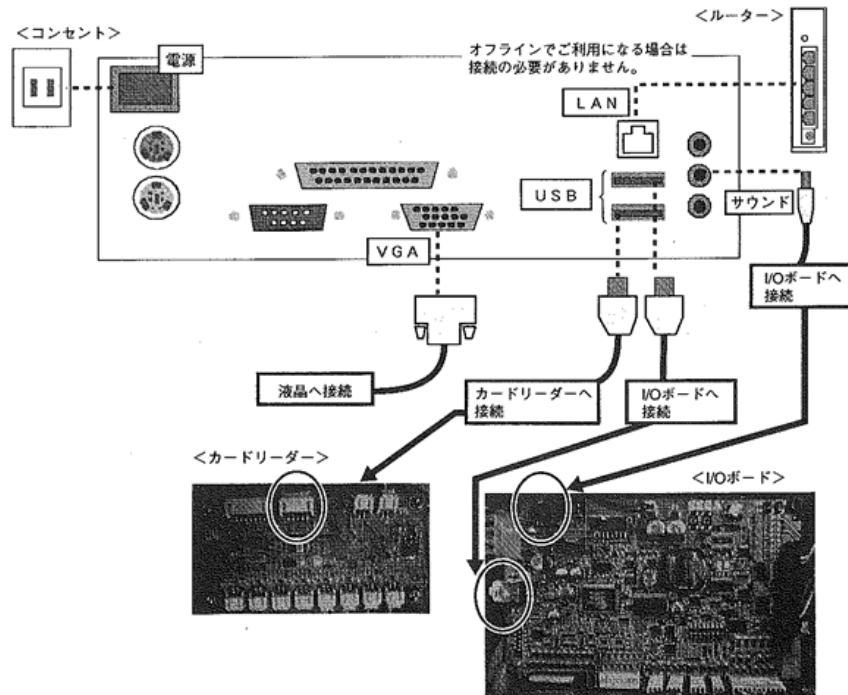
写真; DL2-EX PC 背面コネクタ部



写真; DL2-DX PC 背面コネクタ部



図; DL1 PC 背面コネクタ部



2. ほこり等たまっていないか？

カードリーダー一部をエアダスター等で清掃する。

(清掃方法は取扱説明書;各機構部のメンテナンス;カードリーダーの項を参照してください。)

⇒ 直らない場合、3番へ。

3. 読まない部分は全箇所か、一部分か？

全箇所 ⇒ 4 番へ

一部 ⇒ 8番へ

4. カード RW(リーダーライター)制御基板 ⇔ PC 間 USB ケーブルの接触・断線の有無を確認する。

カード RW 制御基板 ⇔ PC 間 USB(または RS232C)ケーブルが正しく接続されているか？

断線していないか？複数台所有している場合は、正常稼働している台とケーブルの交換をして復帰するかを確認する。直った場合はケーブル不良。

⇒ 直らない場合は、5番へ

写真; DL2 カードリーダー制御基板



5. カード RW(リーダーライター)制御基板の電源ケーブルの接触、断線確認

カード RW 制御基板の電源ケーブルが正しく接続されているか？断線していないか？
複数台所有している場合は、正常稼動している台とケーブルの交換をして復帰するかを確認する。直った場合はケーブル不良。

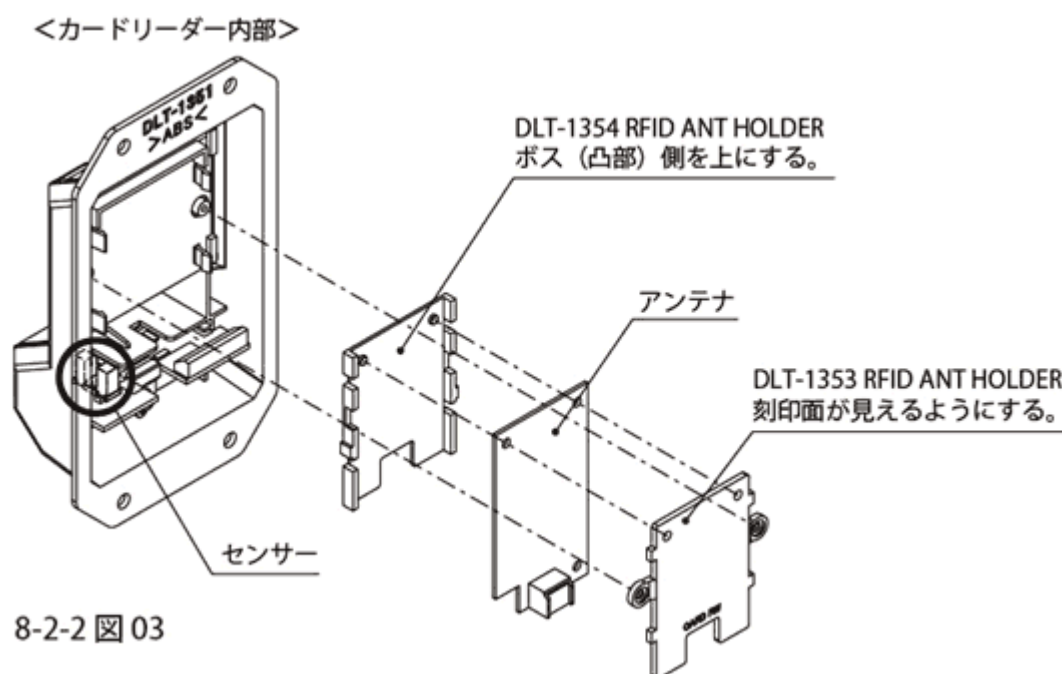
⇒ 直らない場合、6番へ

6. センサーの確認

テストモードの『カードリーダーテスト』でセンサーが点灯しっぱなしになっていないか確認。
全点灯している場合はカードリーダーセンサーまわりの配線を確認。

⇒ 全消灯だったり、カードを入れて正常にセンサーが動作する場合、7番へ。

図； DL2 カードリーダー内部



7. PC を交換して確かめる

複数台所有している場合は、正常稼動している台と PC の交換をして復帰するかを確認。
なおった場合は PC 不良。

⇒ なおらない場合は制御基板不良。カード RW(リーダーライター)全交換。

8. 読まないスロットのアンテナ基板 ⇔ 制御基板間ケーブル接触・断線確認

アンテナ基板⇔制御基板間ケーブルが正しく接続されているか？ 断線していないか？

他のスロットの正常稼動しているケーブルと交換して復帰するかを確認。

なおった場合はケーブル不良。

⇒ なおらない場合、6番へ(本来はアンテナも同様に確かめるべきだが、ほぼ無いので省く。)

9. 電圧の確認

一部を読まない場合、シングルしか読まない場合、店舗の電圧状況も考えあわせ、
今取っているコンセントを別の口から取る。

アバンティ(Avanti)の14インチを使用している場合、古いモニターなので新品の頃よりも
電気を消費するようになり、その分カードリーダーに正常に電源供給がされていない
可能性が高い。

特にダブルス(1スロットにカード2枚)読込不良は電圧が低い場合に多い。

また、PC 内部の電圧が低くて起こる場合もあるので、ダブルス読込不良の交換品は PC、
一部読まない場合の交換品は PC、またはカードリーダーの交換となる。

カメラが映らない

Rev. 2011/02/03.

対象; DL2 シリーズ
不具合箇所; カメラ・キャプチャーボックス・PC 周辺
症状; カメラが映らない(常に映らない)
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. 常に映らない場合、キャプチャーボックスの線が不良もしくは接触不良

砂嵐の場合、カメラとキャプチャーボックスのコネクタ部が不良か接触不良。

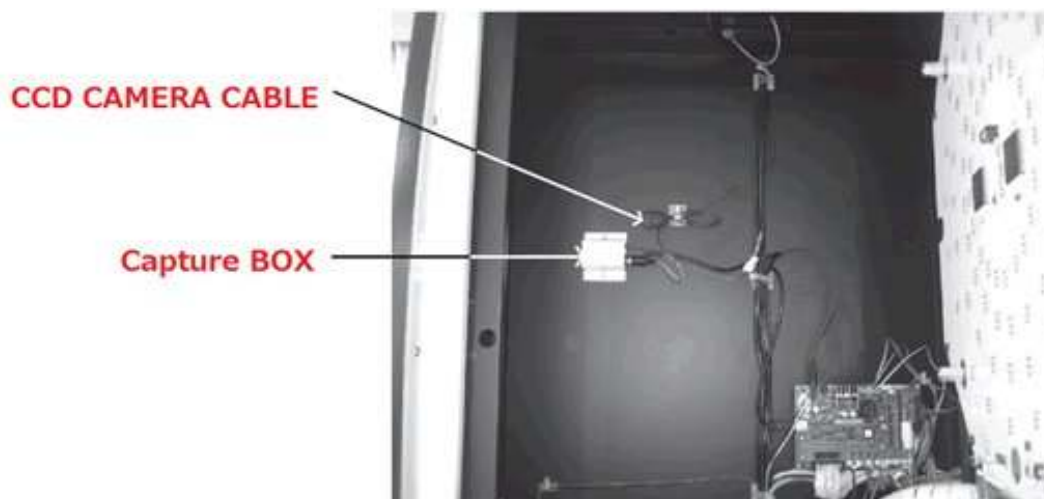
(コネクタの抜き差しでおおよそ改善する)

ただし、何回も同じ症状が出るようだと DC12v、DC5vの電圧低下が考えられるので、電源交換も有効。

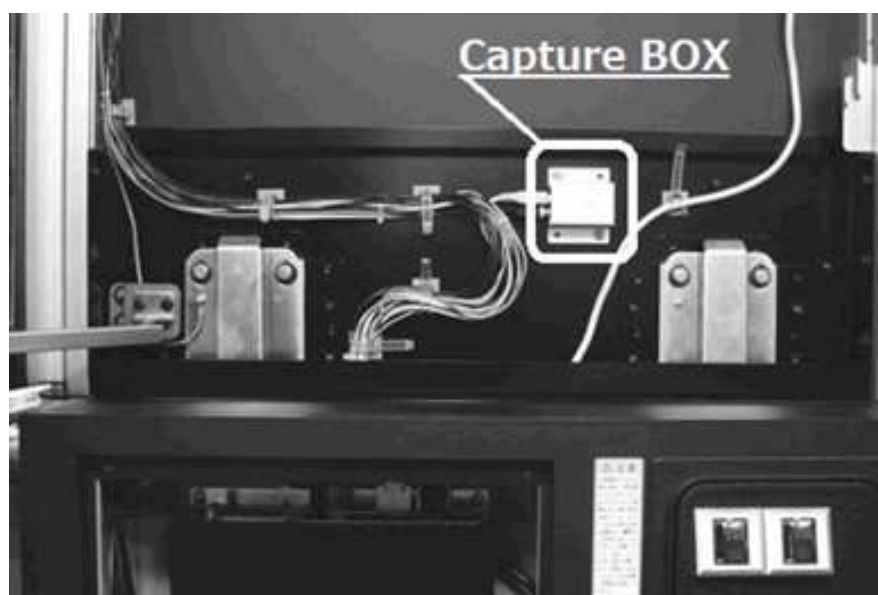
写真; EX-F キャプチャーボックス



写真; EX キャプチャーボックス



写真： DX キャプチャーボックス



2. 常に映らない場合、キャプチャボックス、USB、PC の点検

カメラ画像部分が真暗な場合、キャプチャボックスから PC までの不具合が考えられる。

3. 通信対戦時のみ映らない。または映ったり映らなかったりする。

店舗の回線状況？

通信対戦時の映像不具合は回線に問題がある場合が多い(回線スピードが遅い等)

店舗のネットワーク構成を再確認し、異常があれば訂正する。

*** マルチセッションはサポートしていません。**

カメラ画像がチラつく

Rev. 2011/02/03.

対象;	DL2 シリーズ全て
不具合箇所;	カメラ
症状;	カメラから取込んだ画像がチラつく
対応;	マシンの配置や照明の位置・向きの変更でなおる場合があります。

症状が発生した店舗にのみ、黒みがかった透明フィルム（照明用のフィルター等）をカメラのレンズ手前のアクリルに貼り付け、フィルターの効果により改善した例もあります

原因;	DL2 のカメラは暗いダーツバー向けでもはっきり人が見えるように、自動的にコントラスト調整等を行うプログラムが組み込まれていますが、特定の明るさの場合（蛍光灯のチラつきに反応してか）、画面がチラつくことがあります。
-----	---

色が正しく表示されない場合等

カメラの特性と環境によって発生する場合があります。

カメラのオートホワイトバランス機能により、店舗の明るさや照明の種類・向きによっては、映っている物の色味等が正しく表示されない場合が有り得ます。

マシンの配置や照明の位置・向きの変更で直る場合があります。

クレジットがあがらない（機械式コインセクター）

Rev. 2011/02/03.

対象;	DL1、DL2 シリーズ（DL2EX と電子式コインセクタは対象外）
不具合箇所;	I/O ボード・コインセクター
症状;	クレジットがあがらない（機械式コインセクター）
対応;	下記1番から順番に試して下さい。（0番は CVT のみ）

0. DL1CVT 限定； I/O ボードの DIP-SW-7チェック(CASH-DOOR-SW)

改造前の元筐体が **AVANTI(アバンティ)** で、
【DIP-SW-7】(ディップスイッチの 7 番) が **ON** になっていた場合、**OFF** にする。

また、コインシュートドアが閉じていて画面上 DOOR OPENED になっていたら、
コインシュートドア内側にあるスイッチの位置を調整する。

AVANTI(アバンティ) 以外の場合、**DIP-SW-7** が **ON** になっているかを確認する。
【J14】、【J15】のジャンパー線(コネクタ)が刺さっているか確認する。

J15 ; コインシュートドアスイッチ

J14 ; キャッシュボックスドアスイッチ

写真 Avanti;コインドア内側にあるスイッチ



1. 配線チェック

I/O ボードの【J10】 の3ピンコネクタが正しく入っているか。

写真 ; DL2-EX-F(Avanti)



DL2-EX-F(MATRIX)

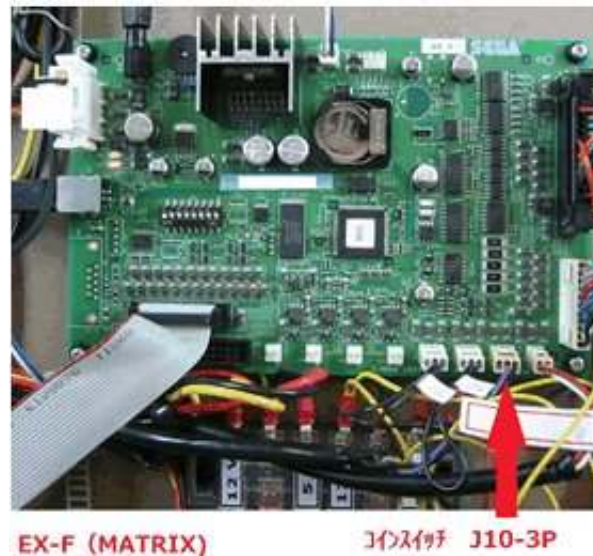
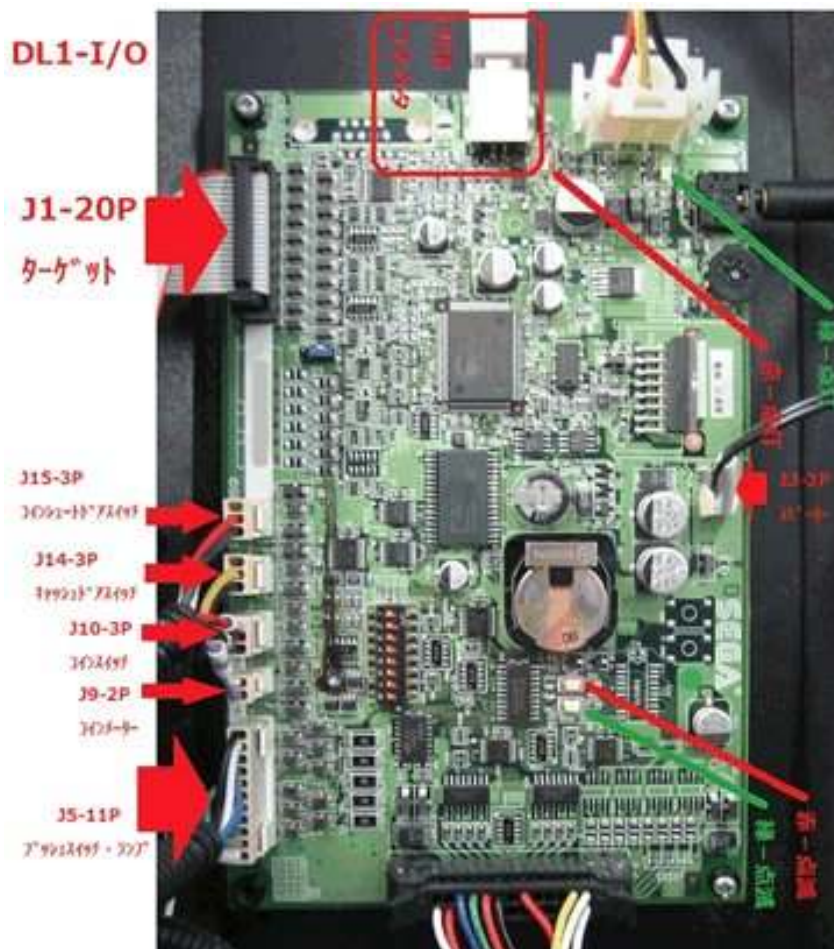


写真 ; DL1-I/O



2. コインが正常に挿入出来るか、キャンセルされたり詰まったりしていないか？

コインスイッチ部のピアノ線(ヒゲ)を降ろしてみてクレジットがカウントするか？

- ⇒ 正常に入ってクレジットがあがらない場合、3番へ。
- ⇒ 正常に入らない場合はコインセレクターのチェック。
- ⇒ カウントする場合はコインセレクターからコインスイッチまでのコインの配線を確認する。

3. コインセレクターのコインスイッチ交換テスト

2スロットのうち1ヶ所のみカウントしないか？2カ所ともカウントしないか？

1ヶ所の場合、もう1ヶ所とコインスイッチを交換して正常に動くか確認。

- ⇒ 正常に動く場合はコインスイッチ不良。
- ⇒ 動かない場合は配線チェック。
- ⇒ 2カ所とも動かない場合、4番へ。

4. コインセレクターのコインスイッチ ⇔ I/O ボードの配線。

コインスイッチ ⇔ I/O ボードの配線をチェックし、接触不良がないか、断線がないかを確認。

正常の場合、2台以上筐体がある場合は正常マシンとI/O ボードを交換して直るかチェック。

- ⇒ 直ればI/O ボードの交換。
- ⇒ 直らない場合は配線の接触及び断線。

クレジットがあがらない（電子式コインセクター）

Rev. 2011/03/23.

対象; DL2-EX・EX-F、DL1-CVT (MATRIX)
不具合箇所; I/O ボード・コインセクター
症状; クレジットがあがらない（電子式コインセクター）
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

EX の場合、参照 ; (関連情報; 1. SG-968 調整について)

写真; DL2EX 電子式コインセクター(SG-968)

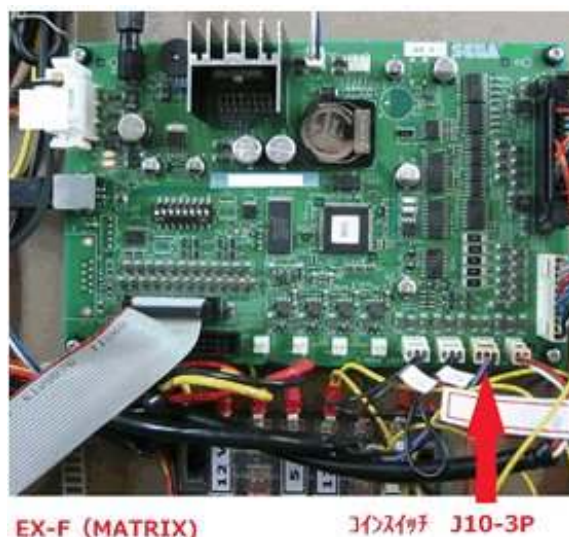


1. 配線チェック

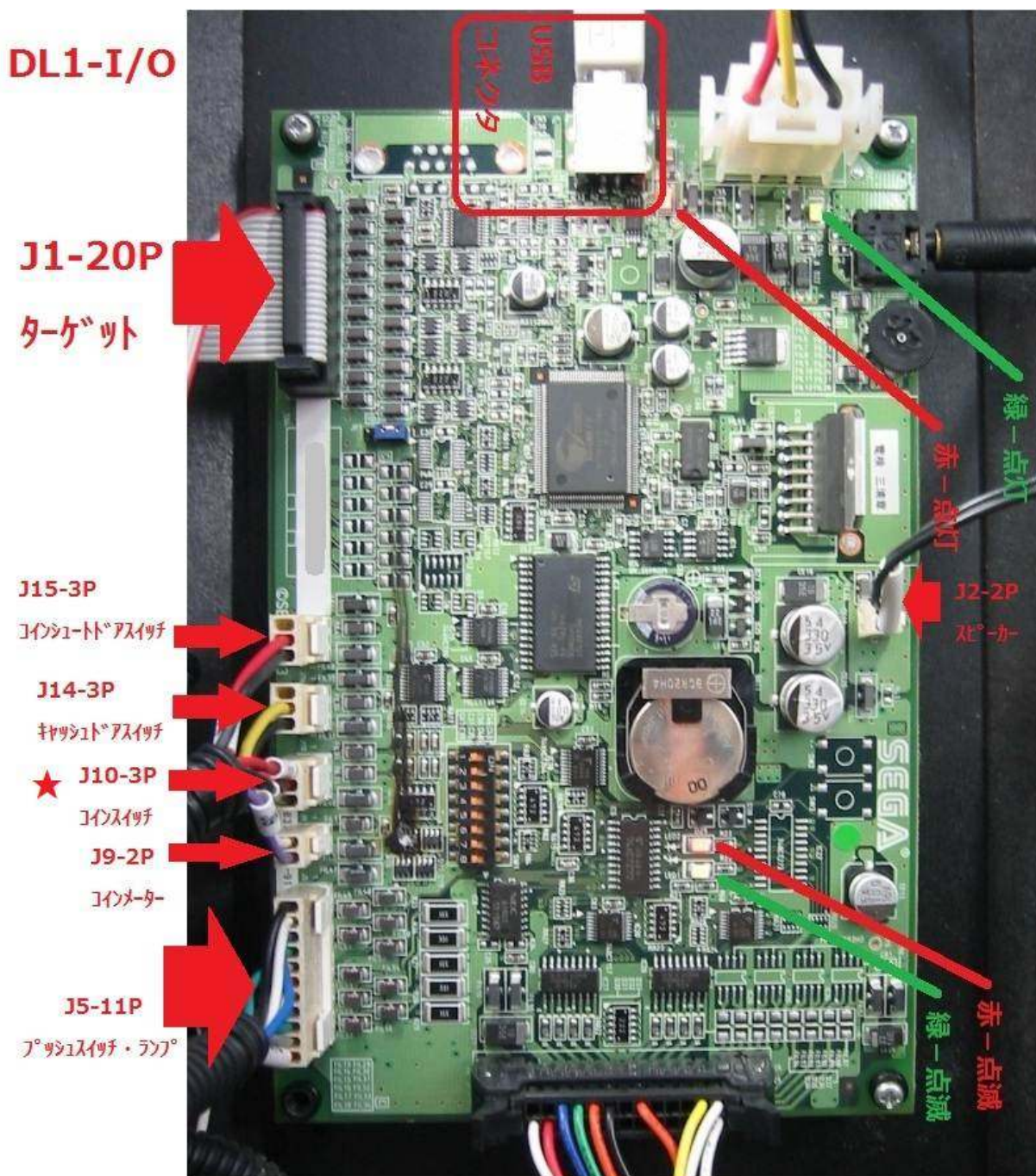
I/O ボードのJ10の3ピンコネクタが正しく入っているか。

写真; DL2-I/O ボード J10の位置(右下赤矢印)

DL2-EX-F (MATRIX)



写真： DL1-I/O ボード



2. コインセクターに挟んでいる参照用コインに問題は無いかな？

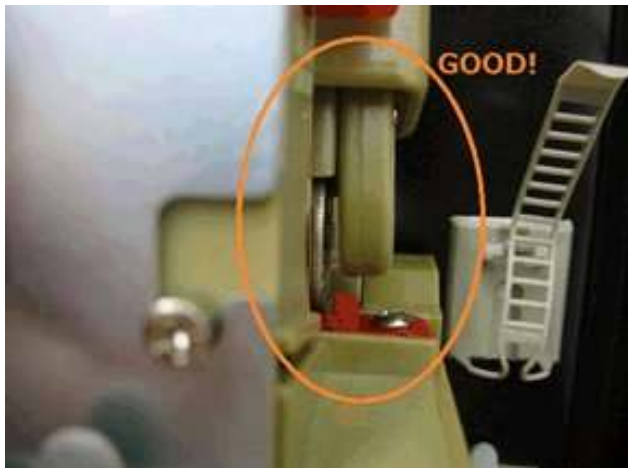
参照用コインの状態（外観・傾き等）が悪いとキャンセル（リジェクト）されてクレジットが入りづらくなります。

新規設置等の注意事項： 参照用コインはバネで押さえ込んでいるだけです。

輸送・設置での位置・傾きのずれが発生することがあります。

センサー用コインは設置時に調整・確認してください。

写真： 良好な状態



半分くらいリジェクトする状態(コインが傾いている)



3. コイン信号の時間設定スイッチは合っているか？(EX 等;SG-968 限定)

コイン信号の時間設定は、3 種類あります(100msec、50msec、20msec)。

設定値は真ん中の【50msec】です。

図中の ⑧ 参照

4. 感度調整ボリューム位置の確認。(EX 等;SG-968 限定)

ここで感度(許容誤差範囲)調整が出来る。

出荷時設定は、中心(12 時の位置)です。(切り欠きが上で水平位置)

右に回すと、許容誤差範囲が大きく(受け入れ易く)なります。

(誤差範囲を大きく設定すると、誤受入する場合があります)

左に回すと、許容誤差範囲が小さく(受け入れ難く)なります。

図中の ⑨ 参照

5. コインセクター ⇄ I/O ボードの配線。

コインセクター ⇄ I/O ボードの配線をチェックし、接触不良・断線がないかを確認。

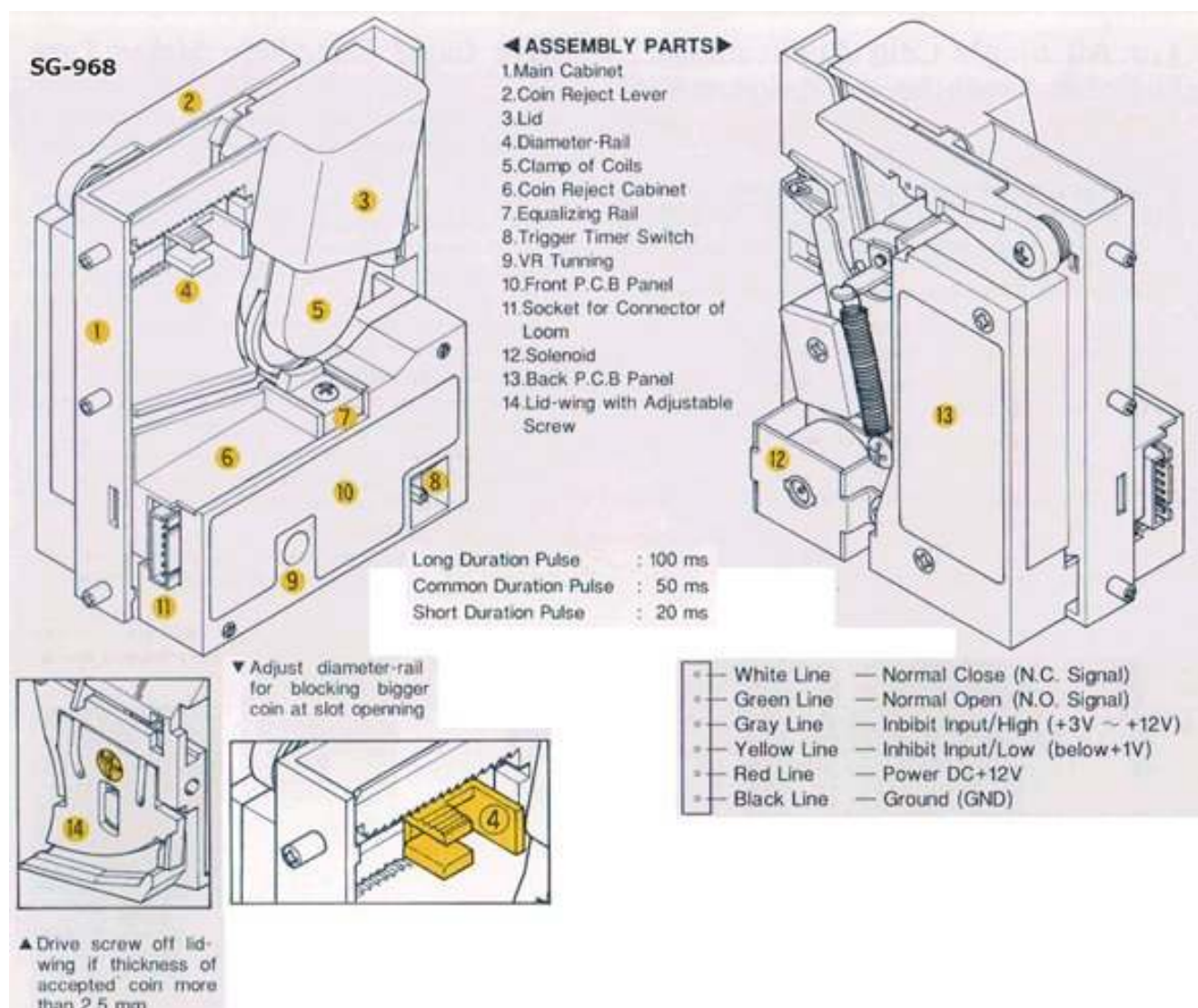
正常の場合、2台以上筐体がある場合は正常マシンとI/O ボードを交換してなおるかチェック。

⇒ 直ればI/O ボードの交換。

⇒ 直らない場合は配線の接触及び断線。

関連情報:

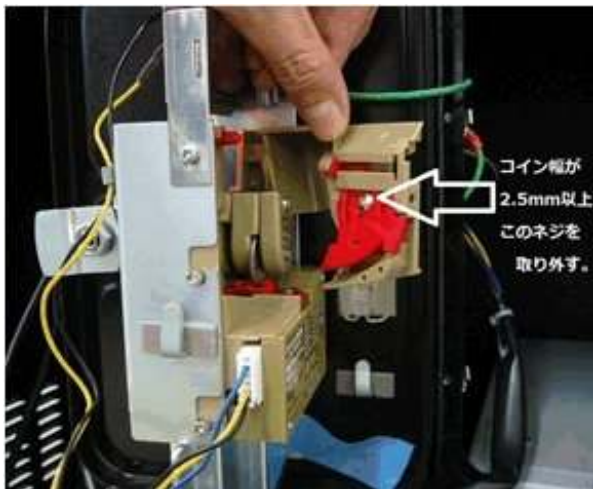
1. SG-968 調整について



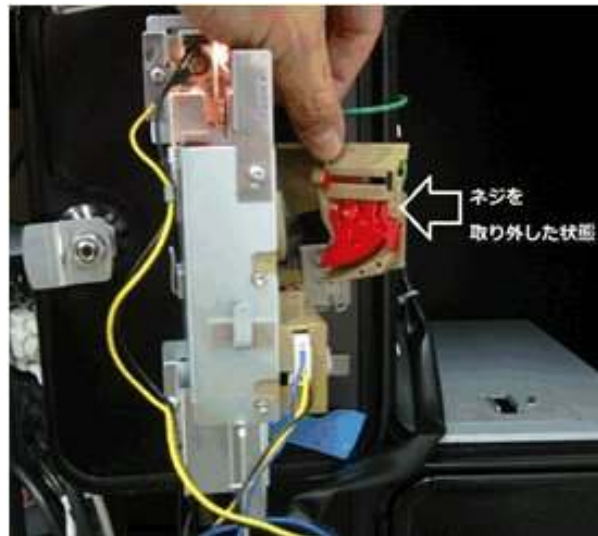
図中④のスライド位置で、受入れるコインの最大径(直径)を調整できます。

図中⑭のネジを取り外すことで、受入れるコインの厚みを 2.5mm 以上に調整できます。

写真； ネジ位置



ネジを取り外した状態



2. SG-968 感度設定スイッチの補足

SG-968 には、取扱説明書に記述されていない感度設定スイッチがあります。(下の写真参照)
このスイッチは取り付け板金ブラケットに隠れているので、取り外さないで確認できません。
設定値は、工場出荷時に高感度(High; スイッチ設定＝下側)にしています。
項目4の感度調整ボリュームを目一杯左に回しても誤受入する場合、この感度設定スイッチが
低感度(Low)になっていないかを確認してください。

写真 ; SG-968 感度設定スイッチ



3. MATRIX/ENGLISH CLASSIC (DL1-CVT・DL2-CVT・EX-F) ; の電子式コインセレクト

写真 ; MATRIX/ENGLISH CLASSIC



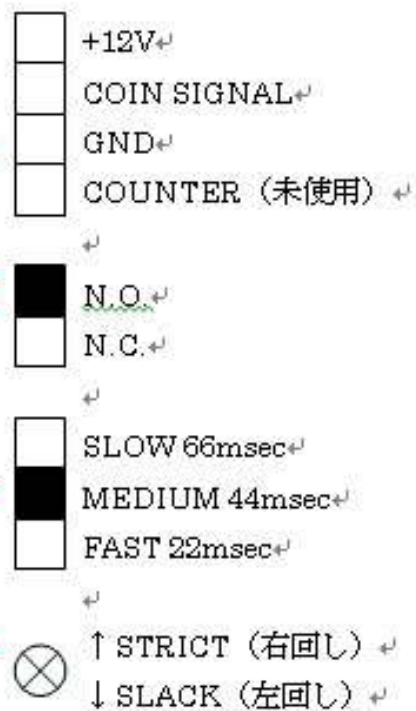
写真 ; 電子式コインセレクト



写真 ; 電子式コインセレクト後側



図 ; 電子式コインセレクトコネクタ・スイッチ



ゲームが選択できない

Rev. 2011/02/03.

対象; DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所; 設定・I/O ボード・ソフトウェアバージョン等
症状; ゲームが選択できない
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

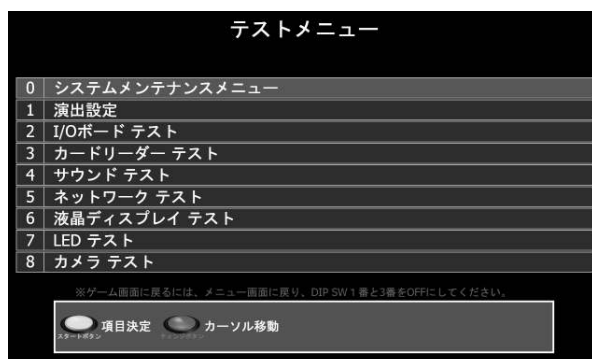
1. サブメニュー(01 なら、301,501,701 等)が表示されているか？



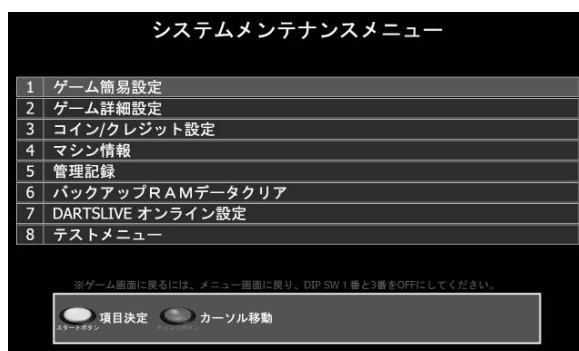
サブメニューに本来表示されるべきゲームが表示されていない場合は、テストモードで該当するゲームの表示設定が『ON』または『YES』になっているかの確認。

DL2 ; カテゴリー毎の表示設定、または、カテゴリー内個別ゲームの表示設定が『YES』になっているか？

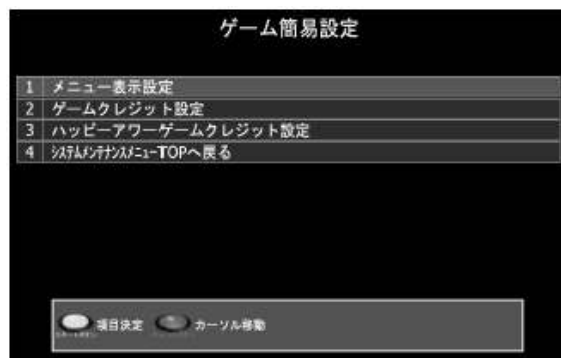
テストメニュー



0 システムメンテナンスメニュー



1 ゲーム簡易設定



1 メニュー表示設定



カテゴリー毎の表示設定、カテゴリー内個別ゲームの表示設定

DL1 ; 『DISPLAY ON MENU』が『ON』になっているかの確認。

SYSTEM MAINTENANCE MENU	
1	GAME SETTING
2	COIN ASSIGNMENT
3	MACHINE SETTING
4	BOOKKEEPING
5	CRT TEST
6	I/O BOARD TEST
7	CARD READER TEST
8	SOUND TEST
9	NETWORK TEST
10	BACKUP RAM CLEAR
11	DARTSLIVE CONFIGURATION
○ :OK ● :SELECT	



GAME SETTING	
1	01
2	CRICKET
3	PRACTICE
4	PARTY
5	MATCH
6	GENERAL OPTION
7	RETURN TO MENU
○ :OK ● :SELECT	

GAME SETTING メニュー画面

01 GAMES	
1	301
2	501
3	701
4	901
5	1101
6	1501
7	GENERAL OPTION
8	RETURN TO MENU
○ :OK ● :SELECT	

カテゴリー内ゲーム選択画面

301 OPTIONS		
1	DISPLAY ON MENU	YES
2	CREDIT(S)	1
3	HAPPY HOUR CREDIT(S)	1
4	ROUND LIMIT	10
5	BULLSEYE	50/50
6	ROBO RIVAL GAME	YES
7	EXTEND PLAY CREDITS	1
8	EXTEND PLAY ROUNDS	5
9	RETURN MENU	
○ :OK ● :SELECT		

カテゴリー内ゲーム詳細設定画面

- ⇒ ON または YES になっていて表示されない場合は I/O ボード不良。
- ⇒ OFF または NO なら、ON または YES にして正常稼動するか確認。
- ⇒ サブメニューが通常どおり表示されている場合、2 番へ。

2. ソフトが最新版でない可能性あり。

上記『DISPLAY ON MENU』が『ON』で特定のゲーム画面に入れない、ゲームを選択できない場合、そのゲームが正しくダウンロード出来ていないので回線のチェック及び PC 交換。
(次回ダウンロード時に入る可能性があるので一日様子を見る)

アップデートが正常に行われているかどうかの確認方法

筐体で、

テストモード → システムメンテナンスメニュー → マシン情報 → 画面下の Version を調べる。

写真; DL2



アップデートが正常に行われない場合、
【ルーターの再起動を行ってから(操作はゆっくり)、
筐体の再起動を行えば正常に行われる可能性があります。】

3. I/O 不良

1番、2番でも改善されない場合、I/O ボードの RAM にゴミデータが書かれてしまっている可能性あり。

⇒ I/O ボード交換。

コインカウンター(メーター)が動かない

Rev. 2010/12/10

対象; DL1、DL2 シリーズ全て (DL1 は一部分対象外)
不具合箇所; I/O ボード周辺
症状; コインカウンター(メーター)が動かない
対応; コインカウンター(メーター)

コインカウンター(メーター)は動かなくても画面上のクレジットはあがるか？

⇒ クレジットがあがった場合、
アナログカウンター ⇔ I/O ボードの配線部接触及び断線チェック。
I/O ボードのJ9の2ピンコネクタが正しく入っているか。

写真 ; ↓ EX-F(Spectrum 用)のJ9-2P (コインカウンター)

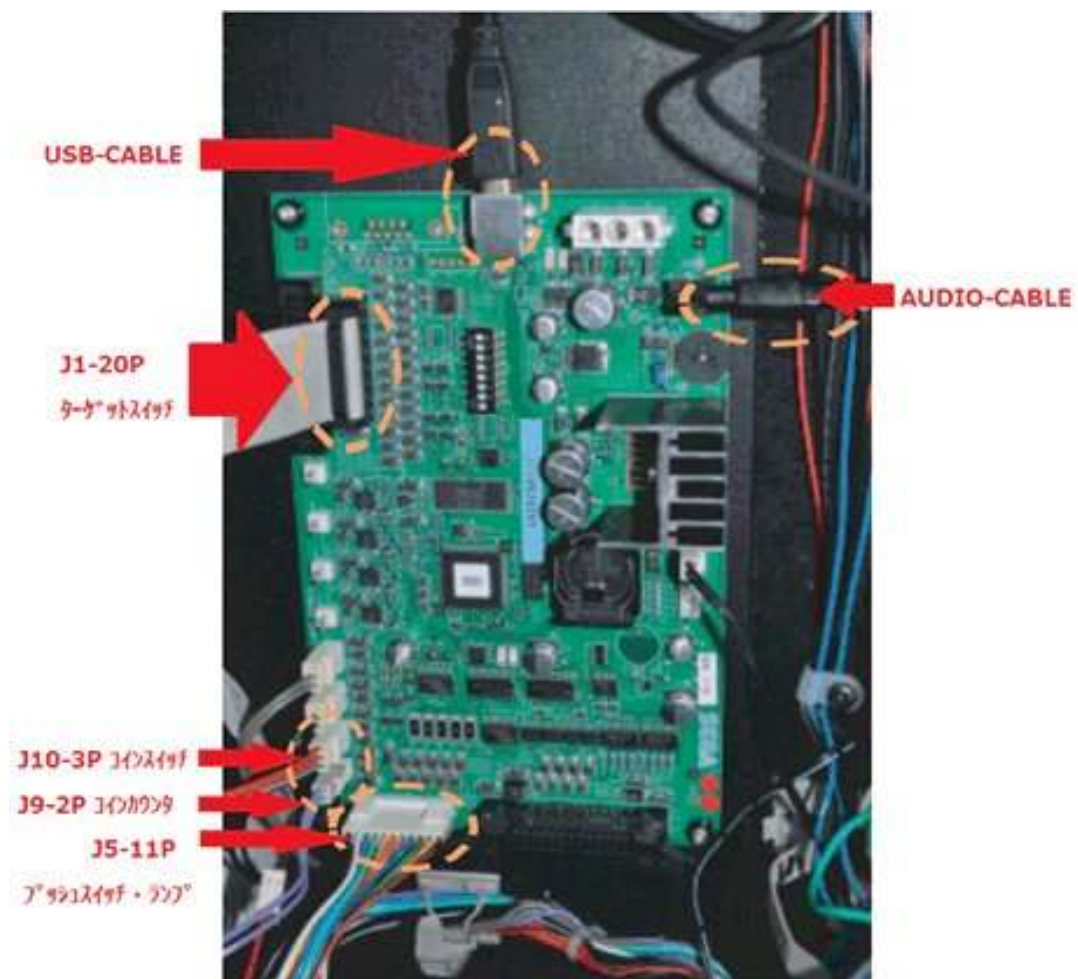


写真 ; ↓ EX-F(MATRIX)のJ9-2P (コインカウンター)



写真 ; ↓ EX/DX のJ9-2P (コインカウンター)

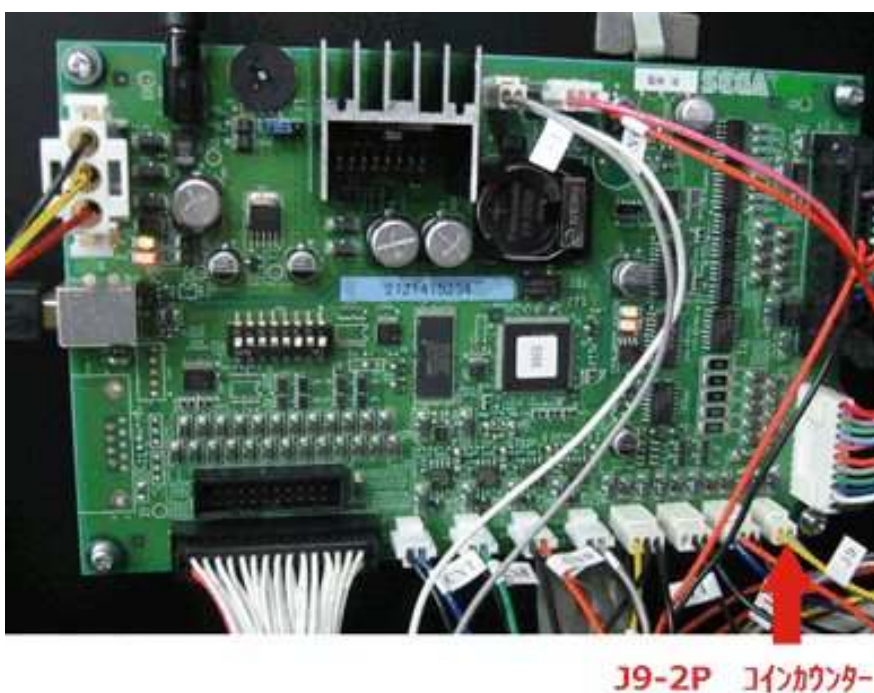
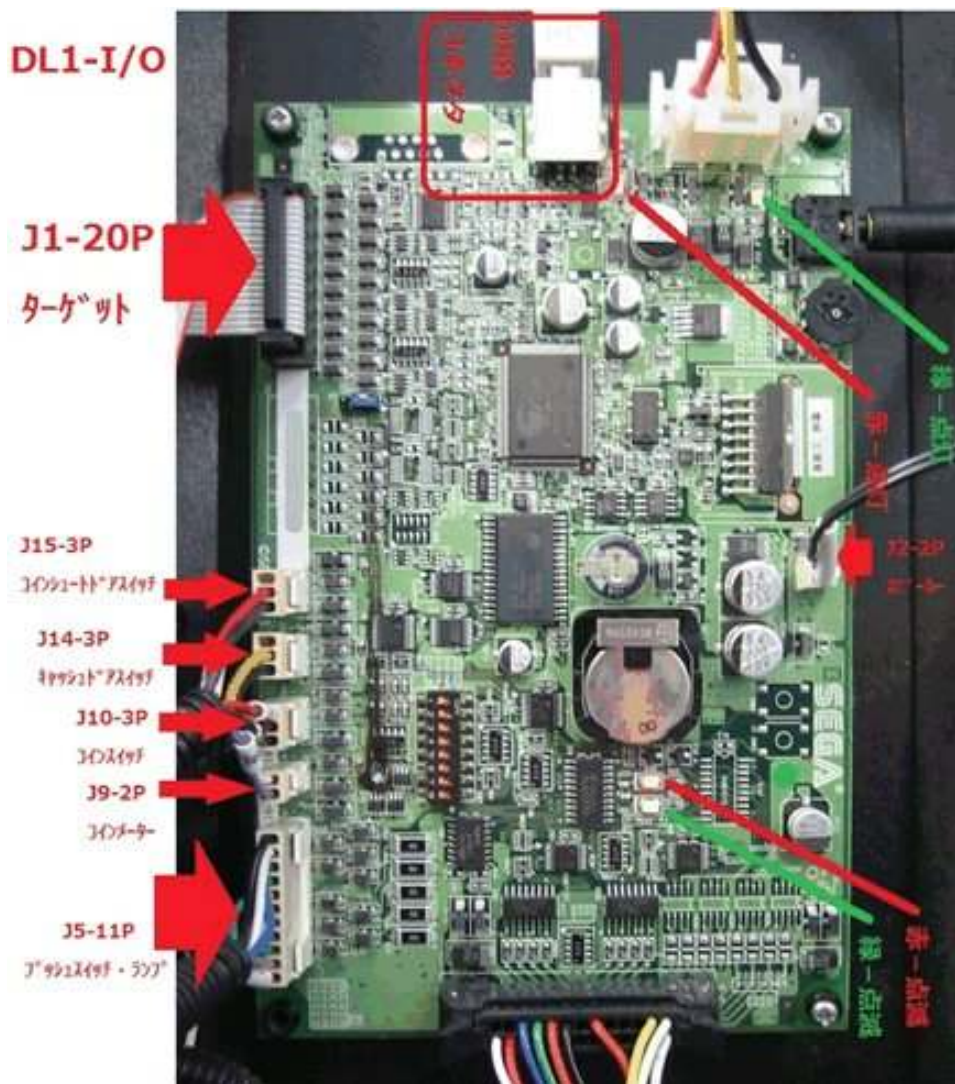


写真 ; ↓ DL1 のJ9-2P (コインメーター)



- ⇒ 配線に異常がない場合、アナログカウンタそのものの不良・故障。
アナログカウンタがネジ止め式の場合、取付け状態が良くない際にも不良が発生する。
ネジを緩めると動く場合もある。その際は固定し直し。
- ⇒ アナログカウンタそのものに問題ない場合は、I/O ボード交換。
- ⇒ クレジットもあがらない場合、別の『クレジットがあがらない』項目を参照。

関連情報；

写真； ↓ EX のコインメーター部



↓ DX のコインメーター部



写真； ↓ Spectrum のコインメーター部



↓ Matrix/English Classic のコインメーター部



ネットワーク オフライン

Rev. 2011/03/23.

対象; DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所; ネットワーク
症状; 【オフライン】と画面に表示される。
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. 複数台ある場合、他の機械(ダーツライブ1又は2・タッチライブ)はオンラインになっているか？

はい ⇒ 6番へ

いいえ ⇒ 2番へ

2. LAN 回線で、ルーターと機械本体の間に HUB(ハブ)を入れて使用しているか？

はい ⇒ 3番へ

いいえ ⇒ 4番へ

3. HUB(ハブ)の電源が入っているか？

推奨 HUB; BUFFALO LSW-TX-8NS



ランプ類は正しく点灯しているか？（背面に挿している LAN ケーブルの数字と同じ所）

- 4 スピードランプが【緑】に点灯している事。
- 5 リンク／アクティブランプが【緑】に点灯・点滅している事。

LAN ケーブルは正しく差し込まれているか？

（指で押し込んで、カチッと音がしたり、クリック間があれば奥まできちんと入っていなかった場合は挿し込み不良）

はい ⇒ 4番へ

いいえ ⇒ HUB（ハブ）の再起動。その後マシンの再起動。

4. ルータの電源は入っているか？ ランプは正しく点灯しているか？

参照；

DL2 用

No.	メーカー	型番	参照資料名
1	BUFFALO	BBR-4HG	資料 ルーター DL2 BUFFALO
2	マイクロサーチ	MR-OPT100E	資料 ルーター DL2 マイクロサーチ

DL1 用

No.	メーカー	型番	参照資料名
1	YAMAHA	RT-57i	資料 ルーター DL1 YAMAHA
2	PLANEX	BRL-04FMX	資料 ルーター DL1 PLANEX
3	Linksys	BEFSR41C-JP	資料 ルーター DL1 Lyncsys

LAN ケーブルは正しく差し込まれているか？

（指で押し込んで、カチッと音がしたり、
クリック間があれば奥まできちんと入っていなかった場合は挿し込み不良）

はい ⇒ 5番へ

いいえ ⇒ 電源を投入し、ルーターを再起動。

HUB（ハブ）がある場合はその後 HUB（ハブ）も再起動。

その後、マシンも再起動。

直らない場合は5番へ。

5. ONU/CTU 等の電源は入っているか？

ランプは正しく点灯しているか？

LAN ケーブルは正しく差し込まれているか？

はい ⇒ ルーターのランプに異常ない場合は、
ONU、CTU⇄ルータ間の LAN ケーブルを交換。または接触を確認。
ルーターが正常な場合、担当へ確認。
問題なければ2番、3番を再確認する。
導通が取れない場合、NTT に回線の状況を確認する。
NTT 側で問題がなければルーターの交換をする。

いいえ ⇒ 電源を投入し、ONU、CTU 再起動。その後、間をおいてルーターの再起動。
HUB がある場合はその後 HUB も再起動。
その後、マシン再起動。

ONU(回線終端装置) (Optical Network Unit)

光回線などの通信回線を引き込む際にお客さま宅内に設置し、パソコンやルーターと
接続する装置。光ファイバーを流れてくる光信号を電気信号に変換したり、
光ファイバーへ送り出す電気信号を光信号に変換する役割を持っています。

参照：資料 ONU NTT

CTU (Customer Network Terminating Unit)

お客様宅に設置し、フレッツ・光プレミアムの提供を行うための設備です。

IP 通信網と通信を行い、電気通信事業者等との接続やファイヤーウォール機能、
IPv6 アドレス払い出し機能等を提供します。

加入者網終端装置(CTU)は、NTT 西日本がサービス提供している B フレッツなどに
使われる、宅内設置の装置です。

参照：資料 CTU NTT

6. ルータ⇄(HUB(ハブ))⇄マシン間の LAN ケーブルの接触不良はないか？

(指で押し込んで、カチッと音がしたり、クリック間があれば奥まできちんと入っていなかった場
合は挿し込み不良)

断線していないか？ (他の正常な機械の LAN ケーブルにつなぎ替えてみる。)

はい ⇒ 7番へ

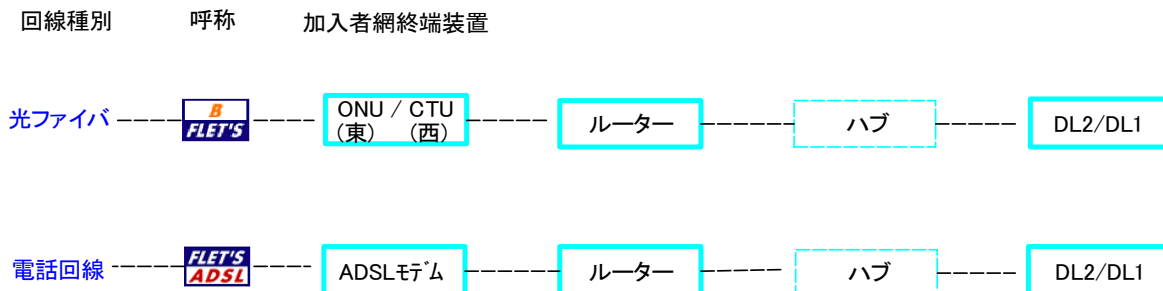
いいえ ⇒ LAN ケーブルの差しなおし、交換。

7. 複数台マシンがある場合、PC を交換して正常稼動するか？

はい ⇒ 交換 PC の発送

関連情報 ；

ネットワーク接続例



※ よくある接続トラブル

加入者網終端装置(ONU/CTU や ADSL モデム・ルーター等)の電源を切り、再度電源を投入した際にネットワークへの接続が出来なくなることがあります。

これは、回線事業者側の仕様で、切断処理が正しく行われなかった際に、**一定時間再接続できない場合があります。**

再接続が可能になるまでケーブルを接続し、電源を投入したままお待ち下さい。

例； **Bフレッツ** ； 5分以上

フレッツ ADSL NTT 東日本 ； 5分以上

フレッツ ADSL NTT 西日本 ； 30分以上

※ リセットスイッチや INIT スイッチについて

ルーター(ONU/CTU/ADSL モデムも注意)のリセットや INIT のスイッチは、弊社の設定を消してしまう物が多いので、間違って押さない様にして下さい。

異常だと考えた際は電源の入り切りで済ませることをお勧めします。

(但し、一定時間再接続できない場合があるので留意してください)

フリーズ

Rev. 2011/02/04.

対象;	DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所;	PC 周辺
症状;	フリーズ
対応;	フリーズ箇所の特定

フリーズ箇所、ゲーム、条件、頻度の確認。

⇒ 特定できるようであればソフト不具合または ROM(コンパクトフラッシュ)破損。

⇒ ハーネス・コネクタ類の抜け・接触不良を疑う。

⇒ 不特定かつその店舗のみであれば PC を交換。弊社担当にご相談ください。

⇒ PC を交換してもなおらない場合は、店舗電圧、筐体電源等の問題を疑う。
(不特定でも多数の店舗で発生している場合はソフト不具合の可能性あり。)

モニター NO SIGNAL

Rev. 2011/02/04.

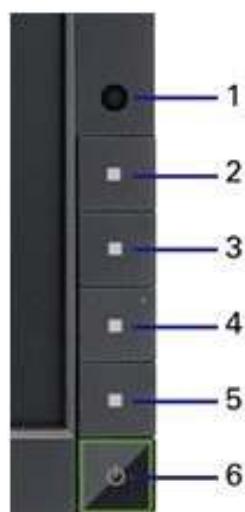
対象; DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所; モニター
症状; 【NO SIGNAL】と画面に表示される。
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. モニター用電源の確認

- 1-1. モニターに電源が供給されているか(配線不備がないか)。
- 1-2. EX タイプモニターは正面右下に 5 個の穴があり、一番下が電源スイッチなので確認。
PC & 配線に問題がなければモニター不良。
⇒ モニター交換。

EX/EX-F (DELL G2410H)の場合

写真 ; EX/EX-F (DELL G2410H)スイッチ部、穴あきアクリル部(右)



ラベル 説明

- 1 周辺光センサーレンズ
- 2 ショートカットキー 1 / 上ボタン
- 3 ショートカットキー 2 / 下ボタン
- 4 OSD メニューボタン / OK ボタン
- 5 戻る / 終了ボタン
- 6 電源ボタン (電源ライトインジケータ付き)

2. VGA ケーブル(PC-モニター間の映像信号ケーブル)の接触確認。

VGA ケーブルが正しく差し込まれているかを確認する。

(PC 側・モニター側・中継が有る場合も確認する。)

3. PC の電源が入っているかの確認

PC の電源が落ちている場合もあるので、PC が起動しているか確認する。

起動しているようなら、下記『4』へ。

4. VGA ケーブル断線不良？

機械が2台以上ある場合、または店舗に PC 等がある場合は、正常に稼動している

VGA ケーブルを異常発生マシンに使用し、正常稼動するかの確認を行う。

正常だった機械の VGA ケーブルで正常に表示した場合は、異常発生側の VGA ケーブルは断線不良。

直らない場合は、下記『5』または『6』へ。

5. PC 故障・不良？

PC の VGA(ビデオ)ポート、及びマザーボード(M/B)自体の故障・不良が疑われる。

⇒ PC 交換。

6. モニター故障・不良？

⇒ モニター交換。

リブート(再起動)

Rev. 2011/02/04.

対象; DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所; PC 周辺
症状; 勝手にリブート(再起動)する。
対応; リブート箇所の特定

リブート箇所、ゲーム、条件、頻度の確認。

- ⇒ 特定できるようであればソフト不具合、または PC メモリや ROM(コンパクトフラッシュ)の不良。
- ⇒ ハーネス・コネクタ類の抜け・接触不良を疑う。
- ⇒ 不特定かつその店舗のみの場合、PC を交換してみる。
- ⇒ PC を交換してもなおらない場合は、店舗電圧、筐体電源の問題を疑う。
(不特定でも多数の店舗で発生している場合はソフト不具合の可能性あり。)

ルーターのエラー

Rev. 2010/11/29

対象; DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所; ネットワーク
症状; 【オフライン】と画面に表示される。
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. ルーターのランプを確認

ルーターのランプが正常点灯しているかの確認。

⇒ 異常の場合はルーター再起動。再起動してもなおらない場合は交換。

⇒ ハブ(Hub)を使用している場合は、ハブ(Hub)のランプも正常かを確認する。

参照 ; 資料 ハブ(Hub) BUFFALO

表; ルーターの資料

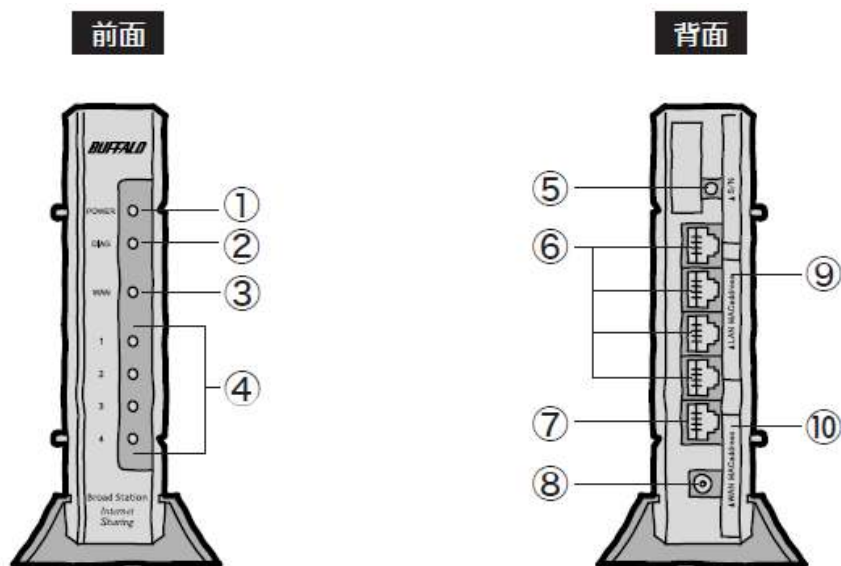
DL2 用

No.	メーカー	型番	参照資料名
1	BUFFALO	BBR-4HG	資料 ルーター DL2 BUFFALO
2	マイクロサーチ	MR-OPT100E	資料 ルーター DL2 マイクロサーチ

DL1 用

No.	メーカー	型番	参照資料名
1	YAMAHA	RT-57i	資料 ルーター DL1 YAMAHA
2	PLANEX	BRL-04FMX	資料 ルーター DL1 PLANEX
3	Linksys	BEFSR41C-JP	資料 ルーター DL1 Lyncsys

図; BUFFALO BBR-4HG



※前面のランプと背面のポートの位置関係は、上下逆になります。

例：パソコンを一番上のポートに接続すると、前面のランプ(4)が点灯します。

- | | | |
|---------------|-----------------------|--------------------------|
| ① POWERランプ(緑) | 点灯：ACアダプタ接続時 | 消灯：ACアダプタ未接続時 |
| ② DIAGランプ(赤) | 点灯：起動中
(起動後は消灯します) | 点滅：ハードウェア異常
ファームウェア異常 |



注意

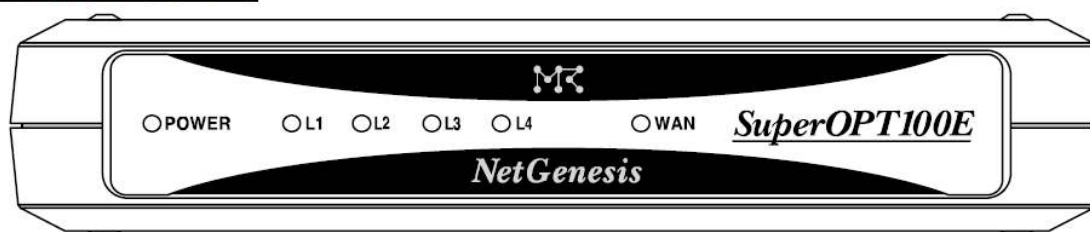
DIAGランプは、BroadStationのファームウェア更新時も点灯します。
この場合は、絶対にACアダプタをコンセントから抜かないでください。

※ACアダプタ接続時や設定初期化スイッチを押した際にDIAGランプが点滅したら、一度、ACアダプタをコンセントから抜いて、しばらくしてから再度差し込んでください。再びランプが点滅している場合は、弊社修理センター宛にBroadStationをお送りください。

- | | | |
|-----------------------|---|-------------------------------------|
| ③ WANランプ(緑、橙) | 点灯(緑)：100Mbpsリンク時
点灯(橙)：10Mbpsリンク時 | 点滅(緑)：100Mbps通信時
点滅(橙)：10Mbps通信時 |
| ④ LAN(Switch)ランプ(緑、橙) | 点灯(緑)：100Mbpsリンク時
点灯(橙)：10Mbpsリンク時 | 点滅(緑)：100Mbps通信時
点滅(橙)：10Mbps通信時 |
| ⑤ 設定初期化(INIT)スイッチ | BroadStationの電源を入れた状態で、スイッチを3秒以上押すと、BroadStationの設定が出荷時設定に戻ります。
BroadStationの電源を入れた状態で、スイッチを1～2秒間押して離すと、BroadStationが再起動します。
(再起動の場合、設定内容は初期化されません) | |
| ⑥ LANポート(Switch) | パソコン/ハブを接続します。
10M/100M対応のスイッチングハブです。 | |
| ⑦ WANポート | ADSL/ケーブルモデムを接続します。10M/100M対応です。 | |
| ⑧ DCコネクタ | 付属のACアダプタを接続します。 | |
| ⑨ LAN MACaddress | BroadStationのLAN側のMACアドレスが記載されています。
「000740」または「000D0B」から始まる12桁の値です。 | |
| ⑩ WAN MACaddress | BroadStationのWAN側のMACアドレスが記載されています。
「000740」または「000D0B」から始まる12桁の値です。 | |

図： マイクロサーチ MR-OPT100E

●正面(モニタランプ)



POWER : NetGenesis SuperOPT100E の電源が ON のときに点灯します。

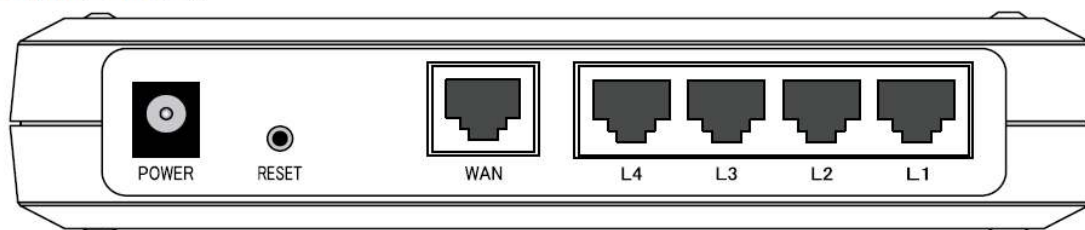
L1 ~ L4、WAN : 各ポートの状態、リンク速度を表します。

グリーンで点灯 = 100Mbps でリンク確立中

オレンジで点灯 = 10Mbps でリンク確立中

点滅 = データ通信中

●背面(コネクタ)



POWER : ACアダプター用コネクタです。付属の AC アダプターを接続します。

本製品に電源スイッチはありません。

ACアダプターを接続すると電源 ON、抜くと電源 OFF となります。

確認

AC アダプターを接続するときは、確実に差し込んで下さい。

AC アダプターが接触不良を起こした状態で使用すると、動作不良や故障の原因となります。

必ず付属の NetGenesis SuperOPT100E 専用 AC アダプターを使用して下さい。

専用 AC アダプター以外を使用すると、動作不良や故障の原因となります。

RESET : NetGenesis SuperOPT100E の設定内容を工場出荷値に戻すためのボタンです。

細い棒等を使って RESET ボタンを押しながら、電源を OFF → ON (AC アダプターを抜き差し) することにより、工場出荷値に戻ります。

(RESET ボタンは電源 ON 後、10 秒以上押し続けて下さい。)

WAN : WAN ポートです。回線終端装置と接続します。

通信速度 (10/100Mbps) の設定はオートネゴシエーションによって自動的に設定されます。

確認

USB タイプの回線終端装置は接続できません。

L1 ~ L4 : LAN ポート 1 ~ 4 です。パソコンや HUB 等と接続します。

通信速度 (10/100Mbps) の設定はオートネゴシエーションによって自動的に設定されます。

2. LAN ケーブルの確認

LAN ケーブルの接続、接触確認。

- ⇒ 挿しているのにランプがついていない場合は他のポート(コネクタ)に挿してみる。
- ⇒ どのポートもランプがつかない場合は一旦ルーターの再起動。
- ⇒ それでもなおらない場合、3番へ。

3. ipconfig で回線チェック

店舗でノート PC 等を持っている場合は、ルーターに LAN ケーブルと PC を接続。

[スタート]-[ファイル名を指定して実行]-[cmd.exe]でコマンドプロンプトを開き、
ipconfigと打ってみる。

IP アドレスが 192.168. . . や、サブネットマスクが 255.255. . . など、
いわゆる正常な値っぽいことを確認する。

IP アドレスが 0.0.0.0 等となっていた場合は、
ルーター再起動後、**ipconfig /renew**と打ってみる。

- ⇒ それでも IP アドレスが取得できない場合はルーターより上の回線の問題。
NTT 等に確かめる。

4. 回線の確認・マルチセッションの確認

ADSL 等低速回線を利用しておられると、通信対戦等に影響がでる場合がございますので、
ご注意ください。

DL 回線に他機具を繋げて利用するとトラブルの原因となる場合がありますので、ご注意ください。

※ルーターの再起動は、電源を落としてから 5～10 分ほど時間を空けていただいた方が有効に作用します。

音が出ない

Rev. 2011/02/04.

対象; DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所; I/Oボード周辺
症状; 音声不良
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. AUDIO ケーブル・スピーカーハーネスの接触不良・断線確認

AUDIO ケーブル・スピーカーハーネスが正しく差し込まれているかを確認する。
複数台ある場合、正常稼動している AUDIO ケーブルを故障マシンに差し、
正常稼動するかの確認を行う。正常稼動した場合はケーブルの断線。

2. 12V 電源・サウンドボリュームの確認

2-1. 操作ボタンのランプが点灯または点滅しているか。
⇒ ランプが点かない場合、直流電源装置(スイッチングパワーサプライ)の故障で、
スピーカーを駆動するパワーアンプの電源が来ていない。

2-2. I/O ボード USB コネクタの隣にある3ピン(線色:黒・黄・赤)の電源コネクタが
正しく差し込まれているか。

2-3. サウンドボリュームが反時計方向に回し込まれていないか(音量最小状態?)。

3. I/O ボードの LED ランプ確認

I/O ボードには4個の LED ランプがあり、USB コネクタ近くの LED ランプが『LED3 RED』と
『LED4 GREEN』の点灯、基板中ほどの LED ランプ『LED2 RED』&『LED1 GREEN』は
点滅状態が正常。

(基板中ほど『LED1 GREEN』の点滅状態が重要)

ケーブルの抜き差しで直らない場合、基板中ほどの緑 LED1 が点滅しない場合は、
I/O ボードの故障確率が高い。

『LED1 GREEN』 基板中ほどの LED ランプ

; I/O ボードのファームウェア起動状態表示で、電源投入すると1秒くらいで点滅開始。

『LED2 RED』 基板中ほどの LED ランプ

; PC との通信状態表示で、電源投入し PC の起動が完了くらいで点滅を始める。

『LED3 RED』 USB コネクタ近くの LED ランプ

; PC からの USB コネクタから、+5V の給電があれば点灯する。

『LED4 GREEN』 USB コネクタ近くの LED ランプ

; ダーツ機の電源装置(スイッチング)から、+5V の給電があれば点灯する。

写真 1; DX・EX I/O ボードの AUDIO・スピーカーハーネスと LED

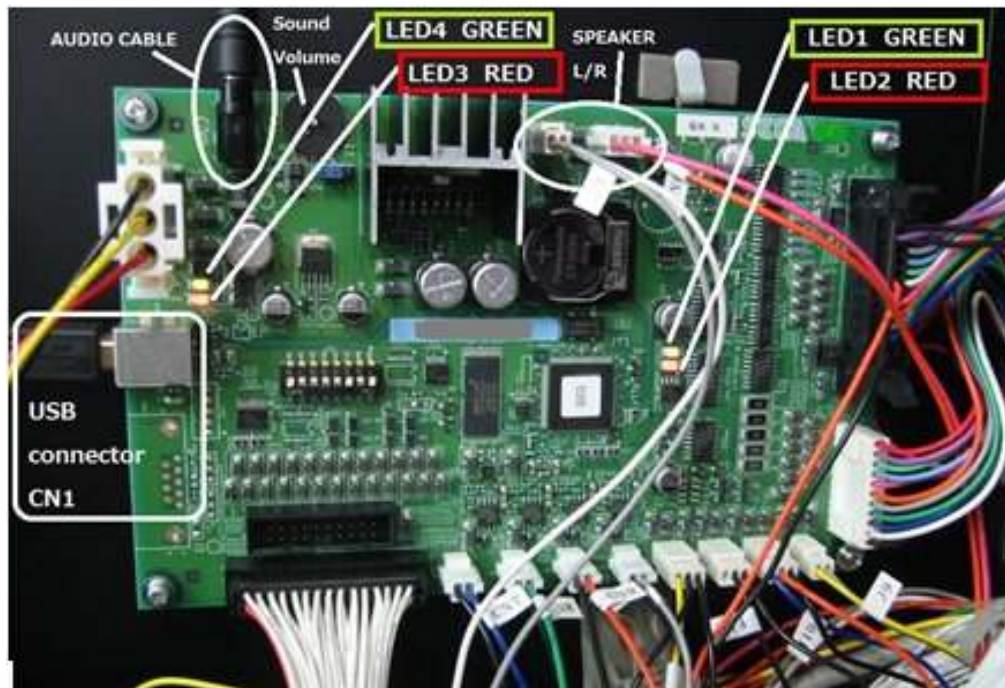
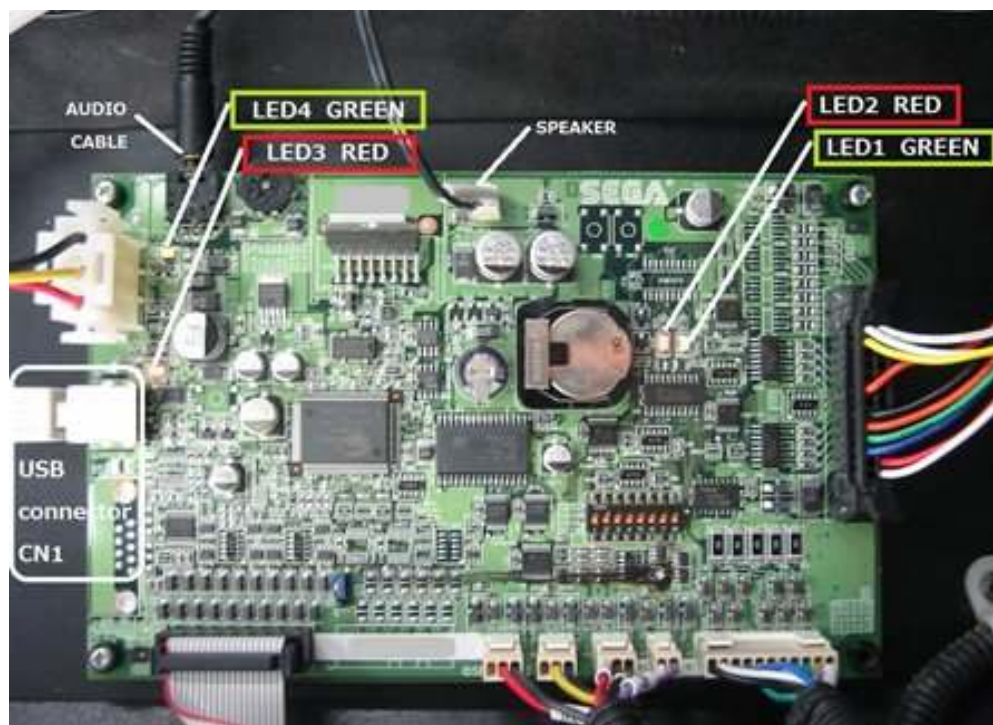


写真 2; DL1 I/O ボードの AUDIO・スピーカーハーネスと LED



4. PC の確認

複数台ある場合は、正常稼動している機械とPCの交換をし、正常稼動するかの確認を行う。
直らない場合は、筐体スピーカーまわりの配線を確認。

起動しない モニターが映らない

Rev. 2011/02/04.

対象; DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所; 全般
症状; 起動しない モニターが映らない
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. 筐体の照明(ターゲット部分)やモニター部分の電源はついているか？

筐体 AC 電源ケーブル・電源スイッチ・電源部ヒューズやサーキットプロテクターの確認
⇒ ついていれば、2番へ。

2. PC の電源はついているか？

PC の電源を確認。(PC の AC 電源ケーブル、電源スイッチ・ランプの確認)。
⇒ ついていれば、3番へ。

3. PC を起動した時の音がしたか？

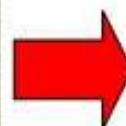
電源を投入し、
『ピッ』と鳴れば正常。 ⇒ 4番へ。
ずっと『ピーピー』鳴っていた場合は PC のメモリーが接触不良や外れていることが多い。
⇒ PC 交換。
音がならない場合はPC故障。 ⇒ PC 交換。

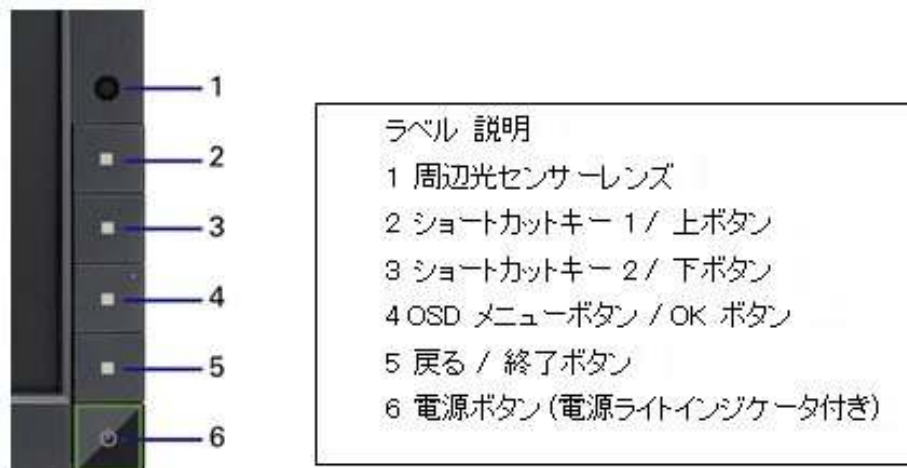
4. モニターの確認

『NO SIGNAL』と表示されて起動しない場合 ⇒ 『NO SIGNAL』のチェック項目へ。

何も表示されない場合 ⇒ モニター自体の電源が入っているか？
⇒ そうでない場合、5番へ。

写真 ; EX-F (DELL G2410H) スイッチ部、穴あきアクリル部(右)





5. 配線確認

配線が正しくできているか再度確認する。

アース (緑ベースに黄色の線) 線と AC 電源ライン (灰・白) をつなげた誤配線の場合はサーキットプロテクターやヒューズが切れているので、電源を OFF 状態にし、筐体の AC 電源ケーブルを抜き去り、配線を訂正してから、サーキットプロテクター修正やヒューズを交換して確認する。

⇒ 配線にも問題がない場合、PC 交換。

起動時 Starting 100 で止まる

Rev. 2011/02/04.

対象; DL2 シリーズ
不具合箇所; ネットワーク、店舗の回線状況、CF(PC 内 ROM)
症状; 起動時の表示が Starting 100 で止まる
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. ネットワークの不具合？

ルータ電源の OFF/ON(OFF してから ON するまで 5 分～10 分位間をあける)
ルータのランプがオンラインにならない場合は、NTT に回線状況を問合せ確認する。

表; DL2用

No.	メーカー	型番	参照資料名
1	BUFFALO	BBR-4HG	資料 3 ルーター DL2 BUFFALO
2	マイクロサーチ	MR-OPT100E	資料 2 ルーター DL2 マイクロサーチ

⇒ ハブ(Hub)を使用している場合は、ハブ(Hub)のランプも正常かを確認する。

参照 ; 資料 1 ハブ(Hub) BUFFALO

2. 店舗の回線状況確認

店舗 PC、ノート PC 等がある場合はルータに直接 PC を接続してもらい、Windows 画面で、
[スタート]-[ファイル名を指定して実行]-[cmd.exe]
=(コマンドプロンプトで)ipconfig と入力しエンター。

⇒ ip address が正しく取れている場合は回線速度の問題の可能性が高い。
弊社担当がお調べしますので、ご連絡ください。

⇒ ip が正しく取れていない場合、(コマンドプロンプトで)ipconfig /renew と入力しエンター
その後、マシンを再起動して試してみる。

3. ROM(コンパクトフラッシュ)異常？

⇒ PC 交換

誤反応

Rev. 2011/02/04.

対象; DL1、DL2 シリーズ全て (DL1 は一部分対象外)
不具合箇所; MEMBRANE-SHEET(メンブレンシート)/MATRIX-SHEET(マトリクスシート)周辺
症状; 誤反応
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. 誤反応箇所のヒアリング

誤反応箇所が一定パターンの場合は、
特定箇所の配線が断線、またはピンが折れている等。

⇒3番へ。

1ヶ所、2ヶ所と共通項が見つからない場合

⇒2番へ。

2. チップ詰まりがないか確認

チップ詰まりは無い。詰まっていたら盤面清掃。

⇒ 詰まっていない場合、3番へ。

3. マトリクス中継基板 ⇔ I/O ボードのハーネス確認

マトリクス中継基板 ⇔ I/O ボードのハーネス断線を2台以上マシンを持っている場合、
正常稼動するマシンと交換して確認。

⇒ 交換して正常稼動した場合はハーネス断線またはピン折れ等。

⇒ なおらない場合、4番へ。

4. マトリクスシート と マトリクス中継基板

マトリクスシート と マトリクス中継基板は正常か確認。

裏面のターゲットボードを外して直接指で押し、

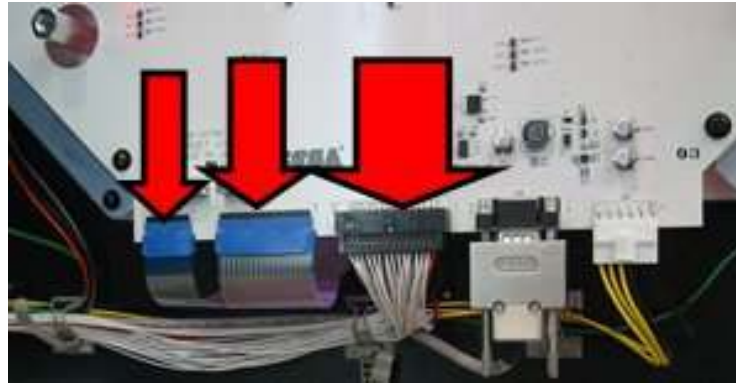
反応を確認し正常に反応すればマトリクスシート以外の不良

2台以上ある場合は正常稼動している台と交換してテストモードにて確認する。

⇒ 正常に動いたらマトリクスシートやマトリクス中継基板の不良。

⇒ 直らない場合はI/O ボード不良？(PC 不良の可能性は低い)

写真 ; DX/EX



写真・図 ; DL12-CVT MEDALIST/MJSPORT

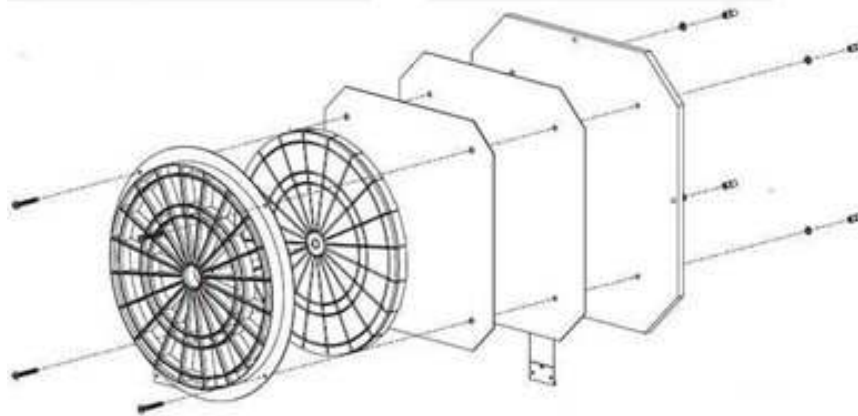
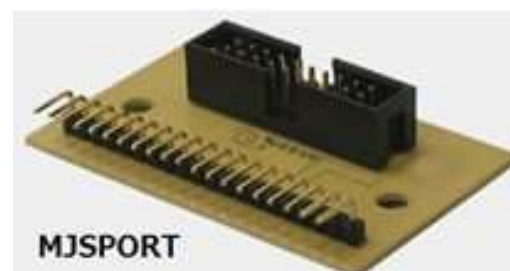


写真 ; DL1/2-CVT Spectrum シリーズ



DL1/2-CVT MATRIX/English Classic



5. ネジ緩み・セグメント噛み込み？

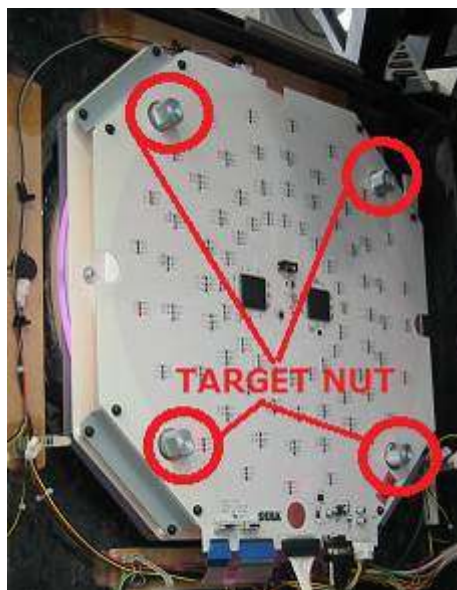
輸送(特に長距離)や、同じ店舗内でも台を移動することで、ターゲット周辺のネジやナットに緩みやセグメントの噛み込み等が生じ、誤反応・無反応・スタックセグメント等の原因になります。

⇒ ターゲット全体の組み直しが有効です。

EX/DX の場合、ターゲットナット(ターゲット裏面)は緩んでいないか？

⇒ ターゲットナット(ターゲット裏面)の調整・ターゲット全体の組み直し。

写真 ; DX TARGET NUT x4



時間がずれる

Rev. 2011/02/04.

対象; DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所; PC または I/O ボード
症状; 時間(時刻)がずれる
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. ネットワークの不具合？

オンラインで正常稼動しているか確認する。
(ネットワークのサーバーから時刻情報を受けているので、オフラインではないか確認)

2. PC の不具合？

新規設置の場合、ネットワーク環境によってはデータのダウンロードが完了せず、時刻情報を受け取れなくなることもあるので、1日くらいは様子を見る。

- ⇒ それでも直らない場合は PC 交換。
- ⇒ PC が古い場合、電池切れも考えられる。PC の交換または電池交換修理。

設定内容(メモリー)が消える

Rev. 2011/03/23.

対象;	DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所;	I/O ボード
症状;	設定内容(メモリー)が消える
対応;	I/O ボードの電池切れ・故障やケーブル・PC のチェック

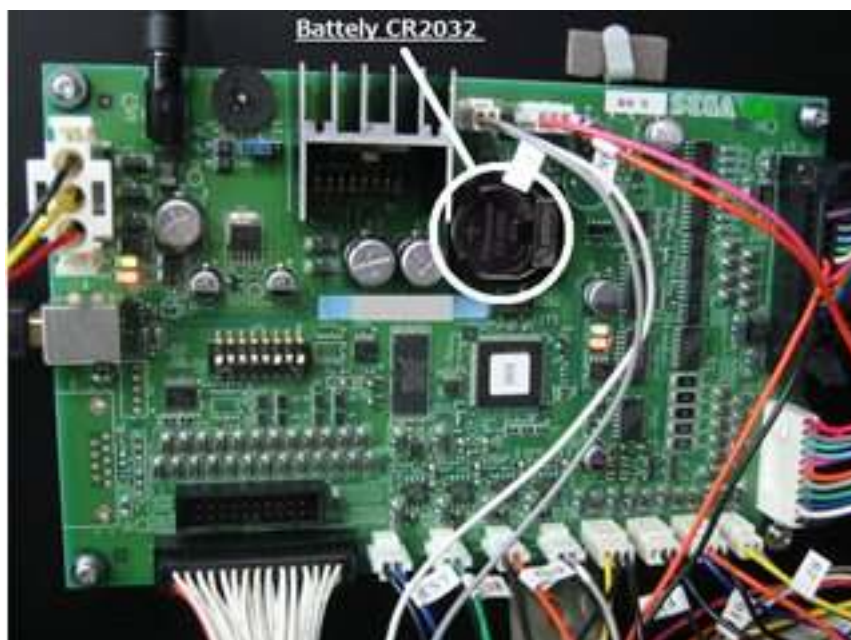
1. ブックキーピングのデータが消える

殆どは I/O ボードのバックアップメモリーの破壊です。
電源が入っている間は大丈夫ならば、
ボタン電池交換 ← I/O ボード故障。

2. 電源が入っている間もダメになる

PC との通信不良でも壊れたりするので、ケーブルまたは PC の故障。
(但し、I/O ボード単体が悪い時も同じことが発生します)

写真 ; DL2 I/O ボード バッテリー部分(CR2032)



通信対戦が出来ない

Rev. 2011/02/04.

対象; DL2 シリーズ全て
不具合箇所; ネットワーク・設定
症状; 通信対戦が出来ない
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. ネットワーク状況を確認する。

不具合の台がオンライン状態か、オフライン状態か、画面右上のネットワーク稼働状況表示で確認する。



『ON LINE』 ⇒ 2番へ。

オンライン:
ネットワークに接続し正常に稼働している状態です。



『OFF LINE』 ⇒ 『ネットワーク オフライン』の項参照

オフライン:
ネットワークに接続されていません。



『ERROR』

⇒ 『ネットワーク オフライン』の項参照

何らかの障害によりネットワークが切断されています。



『スパナのマーク』 ⇒ DARTSLIVE サーバーのメンテナンス中。

メンテナンス：

DARTSLIVE サーバーのメンテナンス中です。
サーバーにはデータが記録されません。



2. ROM(コンパクトフラッシュ)が最新でない可能性あり

⇒ 店舗のネットワーク事情またはPC 不良により最新ソフトのダウンロードが成功しておらず、ゲームができない、開けない等が考えられる。

弊社担当に最新バージョンナンバーをお問い合わせください。

3. サーバー設定の確認

1、2 で改善しない場合は、サーバー設定の確認をさせていただきます。

弊社担当にお問い合わせください。

* 通信対戦において、相手の得点が送られてこない等の症状で、タイムアウトエラーになる場合は、再起動で回復する可能性がありますので、お試しください。

特定のゲームが出来ない

Rev. 2011/02/04.

対象; DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所; I/O ボード周辺、
症状; 特定のゲームが出来ない
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

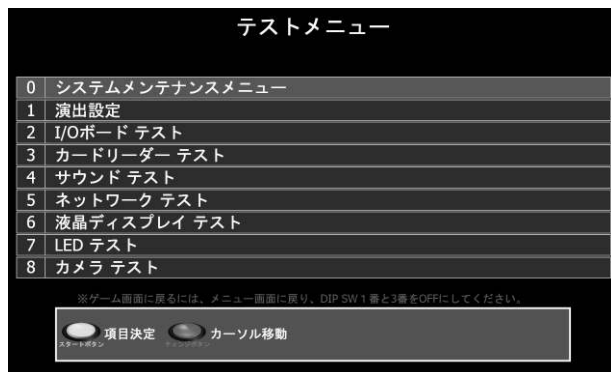
1. サブメニュー(01 なら、301,501,701 等)が表示されているか？



サブメニューに本来表示されるべきゲームが表示されていない場合、
テストモードで該当するゲームの表示設定が『ON』または『YES』になっているかを確認。

DL2 ; カテゴリー毎の表示設定、または、カテゴリー内個別ゲーム設定が『YES』になっているか確認。

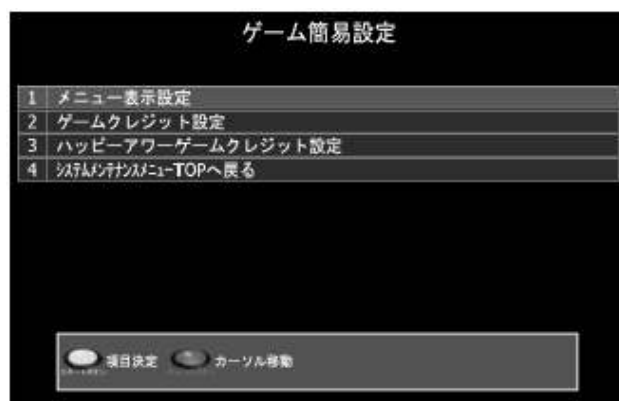
テストメニュー



0 システムメンテナンスメニュー



1 ゲーム簡易設定



1 メニュー表示設定



DL1 ; 『DISPLAY ON MENU』 が 『ON』 になっているかの確認。

SYSTEM MAINTENANCE MENU	
1	GAME SETTING
2	COIN ASSIGNMENT
3	MACHINE SETTING
4	BOOKKEEPING
5	CRT TEST
6	I/O BOARD TEST
7	CARD READER TEST
8	SOUND TEST
9	NETWORK TEST
10	BACKUP RAM CLEAR
11	DARTSLIVE CONFIGURATION
○:OK ●:SELECT	



GAME SETTING	
1	01
2	CRICKET
3	PRACTICE
4	PARTY
5	MATCH
6	GENERAL OPTION
7	RETURN TO MENU
○:OK ●:SELECT	

GAME SETTING メニュー画面

01 GAMES	
1	301
2	501
3	701
4	901
5	1101
6	1501
7	GENERAL OPTION
8	RETURN TO MENU
○:OK ●:SELECT	

カテゴリー内ゲーム選択画面

301 OPTIONS		
1	DISPLAY ON MENU	YES
2	CREDIT(S)	1
3	HAPPY HOUR CREDIT(S)	1
4	ROUND LIMIT	10
5	BULLSEYE	50/50
6	ROBO RIVAL GAME	YES
7	EXTEND PLAY CREDITS	1
8	EXTEND PLAY ROUNDS	5
9	RETURN MENU	
○:OK ●:SELECT		

カテゴリー内ゲーム詳細設定画面

- ⇒ ON または YES になっていて表示されない場合は I/O ボード不良。
- ⇒ OFF または NO なら、ON または YES にして正常稼動するか確認。
- ⇒ サブメニューが通常どおり表示されている場合、2 番へ。

2. ソフトが最新版でない可能性あり。

上記『DISPLAY ON MENU』が『ON』になっているのに特定のゲーム画面に入らず、ゲームを選択できない場合、そのゲームが正しくダウンロード出来ていない場合がある。

⇒ 回線のチェック及び PC 交換。

(一度のアップデートですべてのアップデートが完了しない場合があります。

少しお時間を置くと完了する場合があります。)

アップデートのダウンロード中に、本体の電源を落とすと、ソフトが破損することがありますので絶対になさらないでください。

アップデートが正常に行われているかどうかの確認方法

テストモード → システムメンテナンスメニュー → マシン情報 → 画面下の Version を調べる。

写真; DL2



アップデートが正常に行われない場合、

【ルーターの再起動を行ってから(操作はゆっくり)、
筐体の再起動を行えば正常に行われる可能性があります。】

3. I/O ボードのバックアップデータ異常？

上記1・2でも解決しない場合、I/O ボードのバックアップデータ異常の可能性あり。

⇒ I/O ボードの交換

反応が遅い(矢が刺さってから 3 秒位かかる)

Rev. 2011/02/04.

対象; DL1、DL2 シリーズ全て
不具合箇所; PC、I/O ボード
症状; 反応が遅い(矢が刺さってから 3 秒位かかる)
対応; PC 周辺の接触不良？

1. PC 周りの線を全て抜き差し、I/O ボードと接続している USB ケーブルの抜き差し

⇒ 直らなければ、PC交換

2. PC やキャビネットの通気は問題ないか？

PC が温度上昇によって動作が遅くなることもあります。

PC やキャビネットの通気口の目詰まり、通気ファンの故障停止や回転数が低下していないかを確認。

⇒ なおらなければ、PC交換

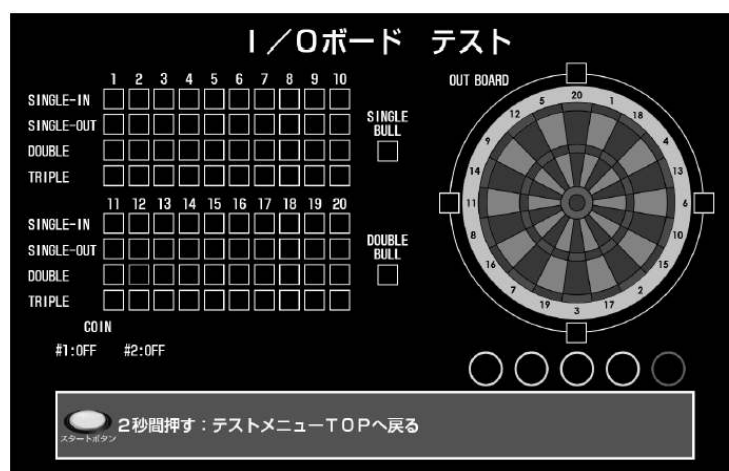
盤面 特定の箇所が光らない・色が違う

Rev. 2011/02/04.

対象; DL2 シリーズ(DX・EX)
不具合箇所; 盤面(ターゲット)周辺
症状; 盤面 特定の箇所が光らない・色が違う
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

1. I/O テストで盤面反応の確認。

押した箇所が正常に反応するか? **異常の場合、誤反応の項へ**
写真 ; DL2 I/O ボードテスト画面



2. LED 不具合?

LED テストを行い、点灯を確認する。

- ⇒ 特定箇所のみ光らない場合は LED 不良。
 - ⇒ 光る場合は、その特定箇所の LED 発光が弱まっている。
- いずれにしても交換・修理が必要。

写真 ; LED テスト 画面



3. LED の色味が変わってきた？

LED の消耗が考えられます。使用環境により異なりますが、適宜交換お願いいたします。

4. ターゲットナンバー 4～15位までの全体が赤色になる等。

ターゲット LED の通信ケーブルが引っ張られていないか？

- ⇒ 引っ張られすぎていると、コネクタ内部で断線しターゲット LED 全体が異常になったりします。
- ⇒ 断線しないまでも、コネクタの接触不完全によって稀に通信ミスが発生し、そのデータを基に LED を光らせている為に異常な色になったりします。

写真 ; EX ターゲット LED の通信ケーブル



写真 ; コネクタ内部断線例



関連情報:

※ EX の設置・メンテナンス時の注意事項

LED ボードに衣服が引っ掛け、IC 部分が破損することがありますのでご注意ください。

写真 ; LED BD 注意

写真 ; IC 破損例

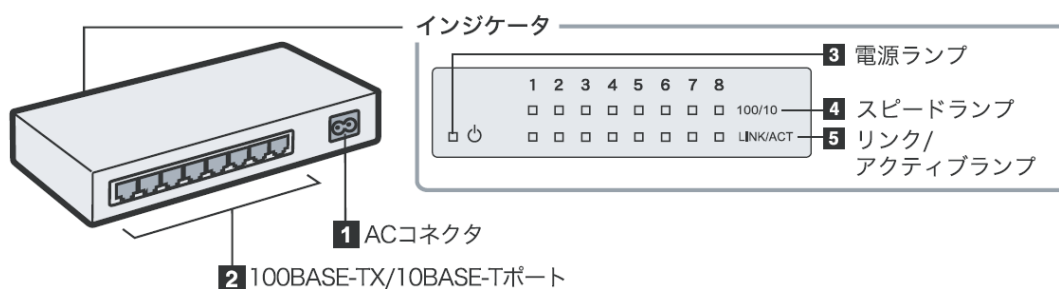


資料 1 ハブ(Hub) BUFFALO

Rev. 2010/11/29

対象; DL1、DL2 シリーズ全て

推奨 HUB; **BUFFALO LSW-TX-8NS**



1 AC コネクタ

付属の電源コードを接続します。

2 100BASE-TX/10BASE-T ポート

パソコン、ADSL/ケーブルモデムなどを接続するポートです。

3 電源ランプ

電源のON/OFF の状態を表示します。
点灯(緑): 電源ON 時

4 スピードランプ

伝送速度を表示します。

点灯(緑): 100M 動作時

消灯: 10M 動作時

5 リンク/アクティブランプ

ポートのリンク状態と動作状態を表示します。

点灯(緑): リンク時

点滅(緑): データ送受信時

ランプ類は正しく点灯しているか? (背面に挿している LAN ケーブルの数字と同じ所)

4 スピードランプが【緑】に点灯している事。

5 リンク／アクティブランプが【緑】に点灯・点滅している事。

資料 2 ルーター DL2 マイクロサーチ

Rev. 2010/11/29

対象：DL2

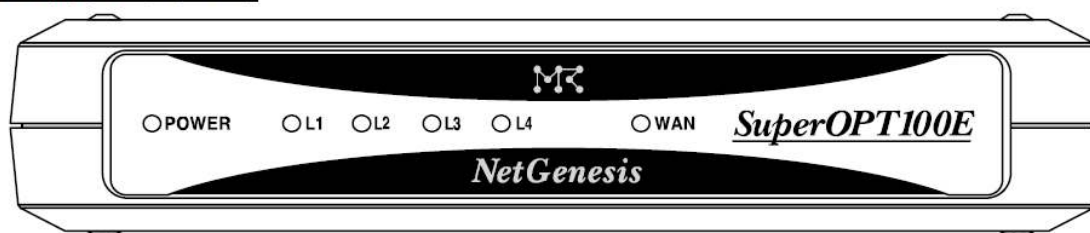
推奨ルーター一覧

No.	メーカー	型番
1	マイクロサーチ	MR-OPT100E
2	BUFFALO	BBR-4HG

1. マイクロサーチ MR-OPT100E



●正面(モニタランプ)

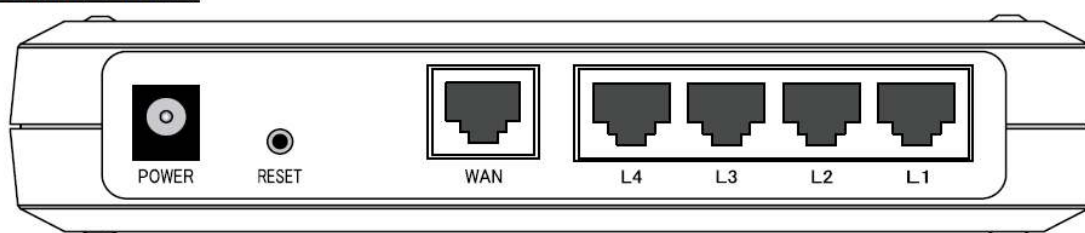


POWER : NetGenesis SuperOPT100E の電源が ON のときに点灯します。

L1 ~ L4、WAN : 各ポートの状態、リンク速度を表します。

グリーンで点灯 = 100Mbps でリンク確立中
オレンジで点灯 = 10Mbps でリンク確立中
点滅 = データ通信中

●背面(コネクタ)



POWER : ACアダプター用コネクタです。付属の AC アダプターを接続します。
本製品に電源スイッチはありません。
AC アダプターを接続すると電源 ON、抜くと電源 OFF となります。

確認

AC アダプターを接続するときは、確実に差し込んで下さい。
AC アダプターが接触不良を起こした状態で使用すると、動作不良や故障の原因となります。
必ず付属の NetGenesis SuperOPT100E 専用 AC アダプターを使用して下さい。
専用 AC アダプター以外を使用すると、動作不良や故障の原因となります。

RESET : NetGenesis SuperOPT100E の設定内容を工場出荷値に戻すためのボタンです。
細い棒等を使って RESET ボタンを押しながら、電源を OFF → ON (AC アダプターを抜き差し) することにより、工場出荷値に戻ります。
(RESET ボタンは電源 ON 後、10 秒以上押し続けて下さい。)

WAN : WAN ポートです。回線終端装置と接続します。
通信速度 (10/100Mbps) の設定はオートネゴシエーションによって自動的に設定されます。

確認

USB タイプの回線終端装置は接続できません。

L1 ~ L4 : LAN ポート 1 ~ 4 です。パソコンや HUB 等と接続します。
通信速度 (10/100Mbps) の設定はオートネゴシエーションによって自動的に設定されます。

資料 3 ルーター DL2 BUFFALO

Rev. 2010/11/29

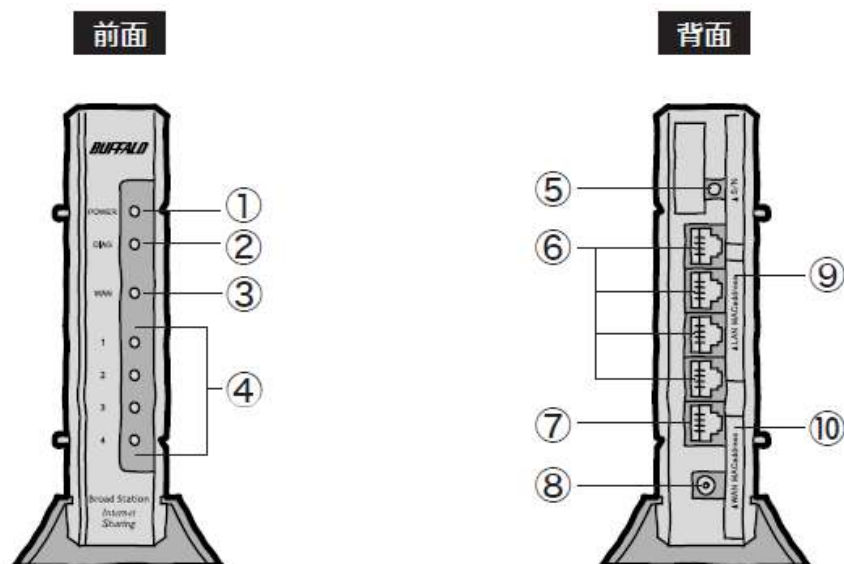
対象; DL2

推奨ルーター一覧

No.	メーカー	型番
1	マイクロサーチ	MR-OPT100E
2	BUFFALO	BBR-4HG

2. BUFFALO BBR-4HG





※前面のランプと背面のポートの位置関係は、上下逆になります。

例：パソコンを一番上のポートに接続すると、前面のランプ(4)が点灯します。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| ① POWERランプ(緑) | 点灯：ACアダプタ接続時 | 消灯：ACアダプタ未接続時 |
| ② DIAGランプ(赤) | 点灯：起動中 | 点滅：ハードウェア異常 |
| | (起動後は消灯します) | ファームウェア異常 |



注意

DIAGランプは、BroadStationのファームウェア更新時も点灯します。
この場合は、絶対にACアダプタをコンセントから抜かないでください。

※ACアダプタ接続時や設定初期化スイッチを押した際にDIAGランプが点滅したら、一度、ACアダプタをコンセントから抜いて、しばらくしてから再度差し込んでください。再びランプが点滅している場合は、弊社修理センター宛にBroadStationをお送りください。

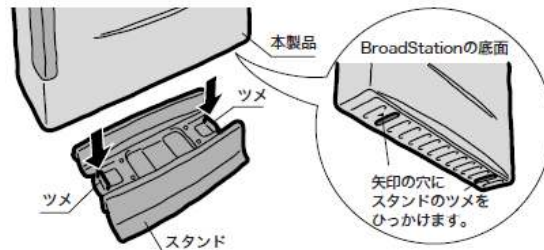
- | | | |
|-----------------------|---|------------------|
| ③ WANランプ(緑、橙) | 点灯(緑)：100Mbpsリンク時 | 点滅(緑)：100Mbps通信時 |
| | 点灯(橙)：10Mbpsリンク時 | 点滅(橙)：10Mbps通信時 |
| ④ LAN(Switch)ランプ(緑、橙) | 点灯(緑)：100Mbpsリンク時 | 点滅(緑)：100Mbps通信時 |
| | 点灯(橙)：10Mbpsリンク時 | 点滅(橙)：10Mbps通信時 |
| ⑤ 設定初期化(INIT)スイッチ | BroadStationの電源を入れた状態で、スイッチを3秒以上押すと、BroadStationの設定が出荷時設定に戻ります。
BroadStationの電源を入れた状態で、スイッチを1～2秒間押して離すと、BroadStationが再起動します。
(再起動の場合、設定内容は初期化されません) | |
| ⑥ LANポート(Switch) | パソコン/ハブを接続します。
10M/100M対応のスイッチングハブです。 | |
| ⑦ WANポート | ADSL/ケーブルモデムを接続します。10M/100M対応です。 | |
| ⑧ DCコネクタ | 付属のACアダプタを接続します。 | |
| ⑨ LAN MACaddress | BroadStationのLAN側のMACアドレスが記載されています。
「000740」または「000D0B」から始まる12桁の値です。 | |
| ⑩ WAN MACaddress | BroadStationのWAN側のMACアドレスが記載されています。
「000740」または「000D0B」から始まる12桁の値です。 | |

重要

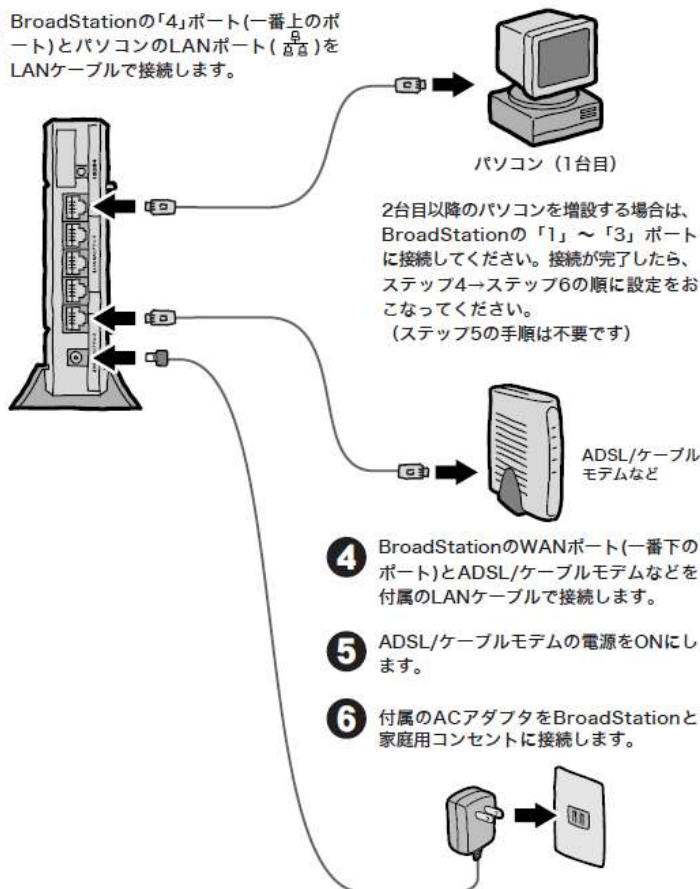
BroadStationをお使いになる前に、ADSL/ケーブルモデムにパソコンを直結してインターネットに接続していた場合は、配線をおこなう前にADSL/ケーブルモデムの電源を30分程度OFFにしてください。

- 1 BroadStationを接続する前に、パソコンとADSL/ケーブルモデムの電源をOFFにします。

- 2 図のようにスタンドを取り付けます。



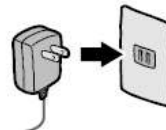
- 3 BroadStationの「4」ポート(一番上のポート)とパソコンのLANポート()をLANケーブルで接続します。



- 4 BroadStationのWANポート(一番下のポート)とADSL/ケーブルモデムなどを付属のLANケーブルで接続します。

- 5 ADSL/ケーブルモデムの電源をONにします。

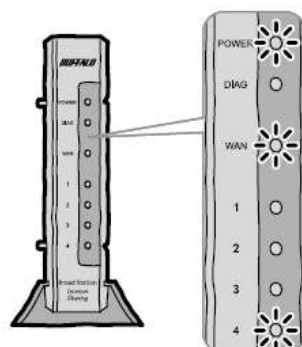
- 6 付属のACアダプタをBroadStationと家庭用コンセントに接続します。



- 7 パソコンの電源をONにします。

- 8 POWERランプ、DIAGランプ、WANランプ、LANランプ(4)が点灯します。
※前面のランプと背面のポートの位置関係は、上下逆になります。
例：パソコンを一番上のポートに接続すると、前面のランプ(4)が点灯します。

- 9 数秒たつと、DIAGランプが消灯します。



資料 4 ルーター DL1 YAMAHA

Rev. 2010/11/29

対象：DL1

推奨ルーター一覧

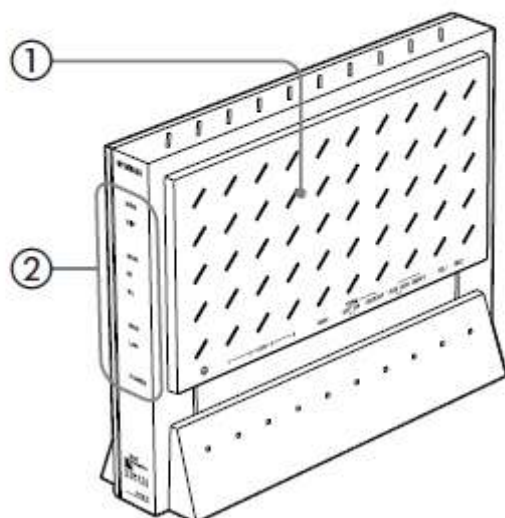
No.	メーカー	型番
1	YAMAHA	RT-57i
2	PLANEX	BRL-04FMX
3	Linksys	BEFSR41C-JP

1. YAMAHA RT-57i



各部の名称とはたらき

前面



① 通風口

内部の熱を逃がすための穴です。

② ランプ

本機の動作状態を示します。

- **MSG**：登録したメールアドレスへメールが着信しているときに、点滅します(101ページ)。
- **VoIP**：VoIP通話の使用状態を示します。通話中は点灯、着信時は点滅します。
- **ISDN**：ISDNの回線状態を示します。回線が使用できる状態のときに点灯します。
- **B1**：ISDNのB1チャネルの使用状態を示します。接続中は点灯、データ通信中は点滅します。
- **B2**：ISDNのB2チャネルの使用状態を示します。接続中は点灯、データ通信中は点滅します。
- **WAN**：WANポートの使用状態を示します。接続中は点灯、通信中は点滅します。
- **LAN**：LANポートの使用状態を示します。接続中は点灯、通信中は点滅します。
- **POWER**：本機の電源の状態を示します。電源が入っているときは点灯します。

前面ランプの点灯状態

● 点灯、◐ 点滅、○ 消灯

MSGランプ

- ◐ プロバイダのメールサーバにメールが到着しています(101ページの手順に従って、メールサーバを登録する必要があります)。

VoIPランプ

- VoIP通話で通話中です。
- ◐ VoIP通話が着信しています。
- VoIP通話を使用していません。

ISDNランプ

- ISDN回線／専用線が正常な状態です。
- ISDN回線／専用線が使用できない状態です。

B1ランプ

- B1チャネルを使用しています。
- ◐ B1チャネルにデータが流れています。
- B1チャネルが空いています。

B2ランプ

- B2チャネルを使用しています。
- ◐ B2チャネルにデータが流れています。
- B2チャネルが空いています。

WANランプ

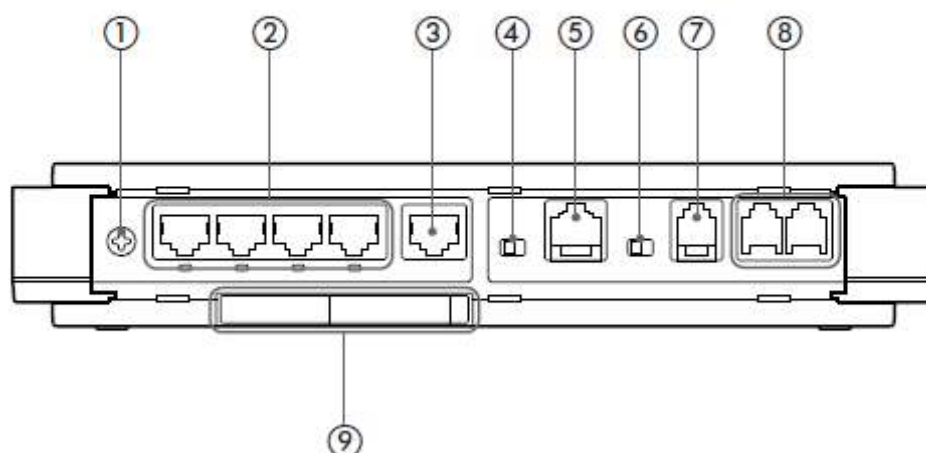
- WANが使用可能な状態です。
- ◐ WANポートにデータが流れています。
- WANが使用不可能な状態です。

LANランプ

- LANが使用可能な状態です。
- ◐ LANにデータが流れています。
- LANが使用不可能な状態です。

POWERランプ

- 電源が入っています。
- 電源が切れているか、または停電しています。



① アース端子

アースコードを接続します。必ず接続してください。

② LANポート

パソコンのLANポートまたはHUBのポートとLANケーブルで接続します。

③ WANポート

ケーブルモデムやADSLモデム、ONUとLANケーブルで接続します。

④ TERM (ターミネータ)スイッチ

ISDN機器のターミネータ(終端抵抗)を設定します。本機のDSUを使用する(DSUスイッチをONにする)場合は、TERMスイッチをONに設定します。

⑤ ISDN S/Tポート

内蔵のDSUを使わない場合は、このポートとDSUをISDNケーブルで接続します。

⑥ REV/NOR (極性反転)スイッチ

ISDN Uポートの極性を切り替えます。

⑦ ISDN Uポート

ISDN回線や専用線をモジュラーケーブルで接続します。

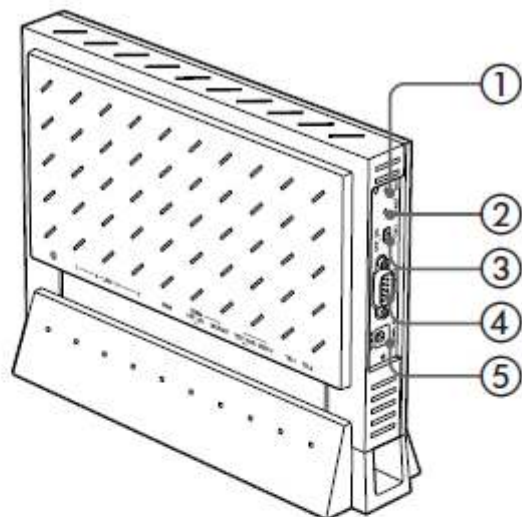
⑧ TELポート

アナログの電話機やFAX、モデムを2台まで接続できます。停電時はTELポートに接続した電話機を使用しての通話できません。

⑨ MACアドレス

機器固有のネットワーク識別番号が記載されています。

背面



① INITスイッチ

このスイッチを押しながらRESETスイッチを押すと、本機の設定を工場出荷状態に戻すことができます。詳しくは、「本機の設定を初期化する」(94ページ)をご覧ください。

② RESETスイッチ

本機を再起動します。

③ DSUスイッチ

本機内蔵のDSUを入/切します。内蔵のDSUを使うときは「ON」、使わないときは「OFF」にします。

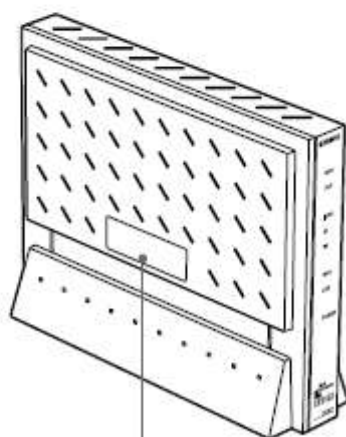
④ CONSOLEポート

コンソールからの設定を行う場合に、パソコンのRS-232C端子(シリアルコネクタ)と接続します。

⑤ 電源コネクタ (DC-IN 9V)

付属のACアダプタを接続します。

側面



① 機器名

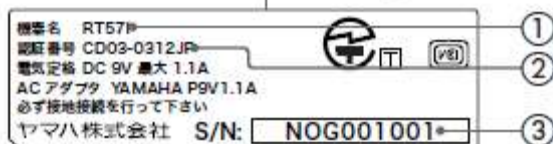
本機の機器名が記載されています。ISDN回線の申し込み時には、ここに記載されている機器名を記入します。

② 認証番号

本機の認証番号が記載されています。ISDN回線の申し込み時には、ここに記載されている認証番号を記入します。

③ シリアル番号

製品を管理/区分するための製造番号です。



資料 5 ルーター DL1 PLANEX

Rev. 2010/11/29

対象：DL1

推奨ルーター一覧

No.	メーカー	型番
1	YAMAHA	RT-57i
2	PLANEX	BRL-04FMX
3	Linksys	BEFSR41C-JP

2. PLANEX BRL-04FMX



■ 本体前面

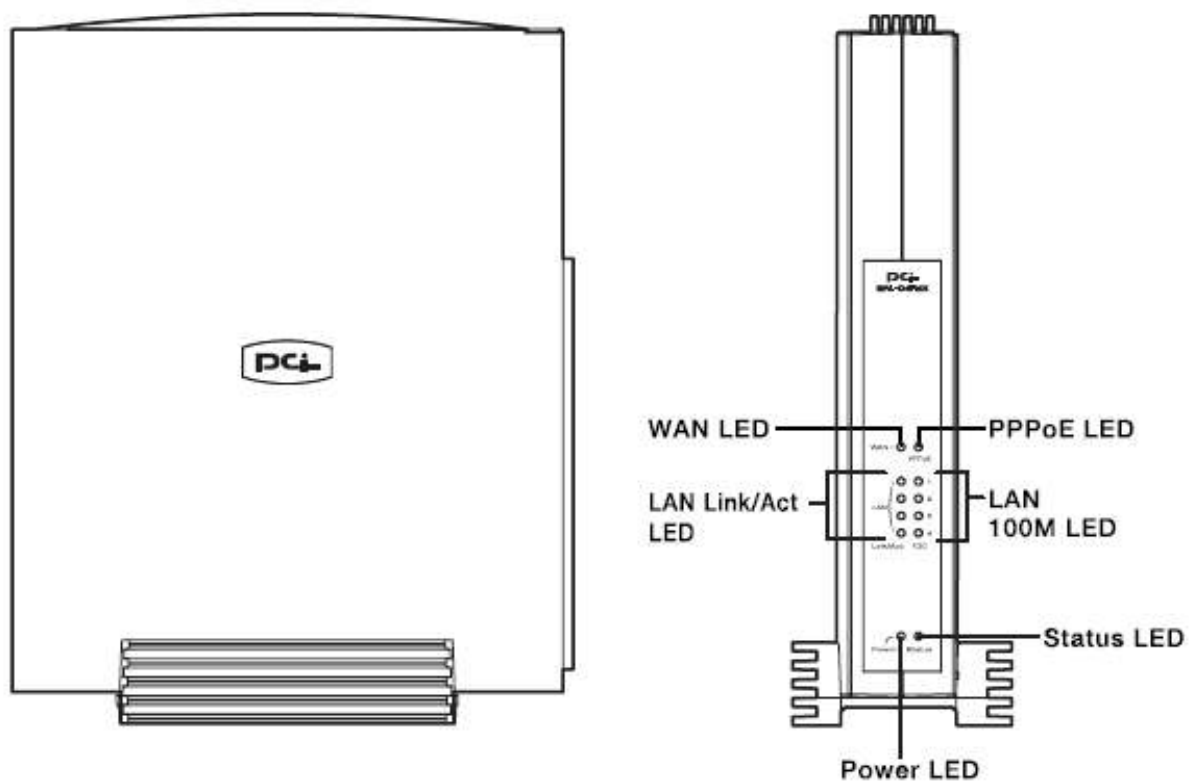


図1-2 BRL-04FMX本体前面

「Power LED」

本製品に電源が供給されているときに点灯します。

「Status LED」

本製品の起動時とエラー発生時に点灯します。

「LAN Link/Act LED」

LAN側ポートのリンクが確立しているときに点灯します。また、ポートがデータの送受信中には点滅します。

「LAN 100M LED」

ポートのリンクが、100Mで確立しているときに点灯します。

「WAN LED」

WAN側ポートのリンクが確立しているときに点灯します。また、ポートがデータの送受信中には点滅します。

「PPPoE LED」

WAN側ポートでPPPoE接続が確立しているときに点灯します。

■ 本体背面

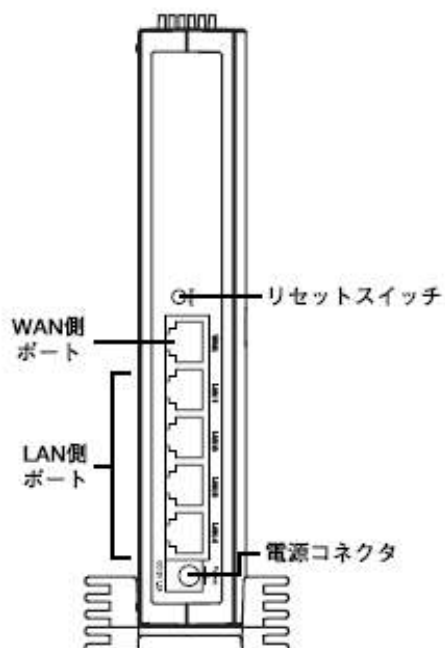


図1-3 BRL-04FMX本体背面

「WAN側ポート」

本製品をADSLまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「LAN側ポート」

本製品にコンピュータを直接接続するためのRJ-45 STPポートです。

「リセットスイッチ」

本製品を再起動するときや、本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すときに使います。

「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

■本体裏面

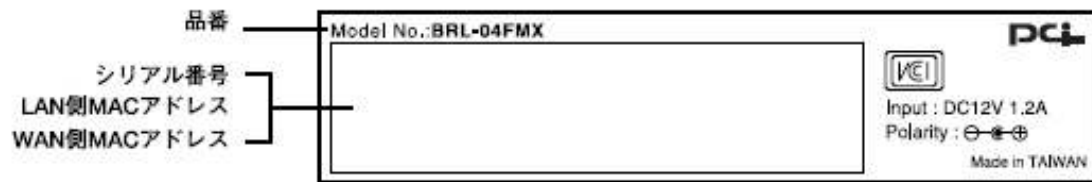


図1-4 BRL-04FMX本体裏面

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受けるときにも必要になります。

「LAN側MACアドレス」

本製品のLAN側ポートのMACアドレス（物理アドレス）です。

「WAN側MACアドレス」

本製品のWAN側ポートのMACアドレス（物理アドレス）です。プロバイダによってはADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要なことがあります。そのときはこのWAN側ポートのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

資料 6 ルーター DL1 Linksys

Rev. 2010/11/29

対象：DL1

推奨ルーター一覧

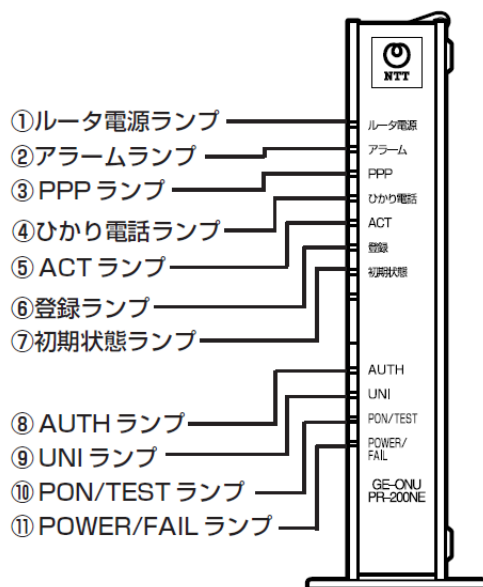
No.	メーカー	型番
1	YAMAHA	RT-57i
2	PLANEX	BRL-04FMX
3	Linksys	BEFSR41C-JP

3. Linksys BEFSR41C-JP



1. PR-200E NTT 東日本

●前面図



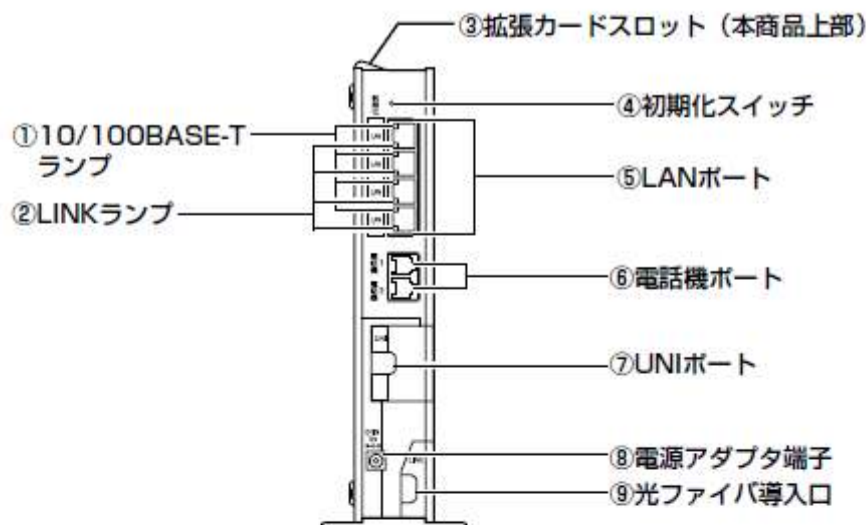
【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
① ルータ電源ランプ	—	消灯	ルータ機能部に電源が入っていません。
	緑	点灯	ルータ機能部に電源が入っています。
② アラームランプ	—	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。※1 （「7章 故障かな？と思ったら」（7-1 ページ）を参照してください。）
③ PPPランプ	—	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1 セッション接続中です。
	橙	点灯	2 セッション以上接続中です。
④ ひかり電話ランプ	—	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
⑤ ACTランプ	—	消灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できます。
		点滅	ひかり電話機能／ルータ機能でデータ通信中です。
⑥ 登録ランプ	—	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。
	赤	点灯	ひかり電話の設定が失敗しました（認証エラー）。
⑦ 初期状態ランプ		点滅	ひかり電話の設定が失敗しました（その他のエラー）。
	—	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	工場出荷状態（初期化された状態）です。※1 ※2
		点滅	IP アドレスが重複しています。 （「7-2 ご利用開始後のトラブル」（7-7 ページ）を参照してください。）

ランプの名称	表示 (色)		状態
⑧ AUTH ランプ	—	消灯	装置運用準備中または装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-1 ページ)を参照してください。)
	緑	点灯	正常な状態です。
⑨ UNI ランプ	—	消灯	内蔵の ONU 機能が利用できません。
	緑	点灯	内蔵の ONU 機能が利用できます。
		点滅	内蔵の ONU 機能でデータ通信中です。
⑩ PON/TEST ランプ	—	消灯	論理リンクダウン状態です。
	緑	点灯	正常な状態です。
	橙	点灯	装置運用準備中または装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-1 ページ)を参照してください。)
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード中です。
⑪ POWER/ FAIL ランプ	—	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
	赤	点灯	装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-1 ページ)を参照してください。)
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード完了状態です。

- ※ 1 ルータ機能のファームウェアのバージョンアップ中はアラームランプが赤点灯、初期状態ランプが橙点灯します(本書でのバージョンアップとは、本商品のルータ機能部分のファームウェアをバージョンアップすることを指します)。
- ※ 2 本商品が工場出荷状態(初期状態ランプ橙点灯)でも、電源を入れたあと、ひかり電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「まるごと設定ツール」や「Web 設定」、電話機からの設定、ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定、電話機からのファームウェア更新を行うと、初期状態ランプは消灯します。

●背面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)		機能説明
① 10/100BASE-T ランプ (4個)	—	消灯	10 Mbps でデータ送受信できます。
	橙	点灯	100 Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ (4個)	—	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。

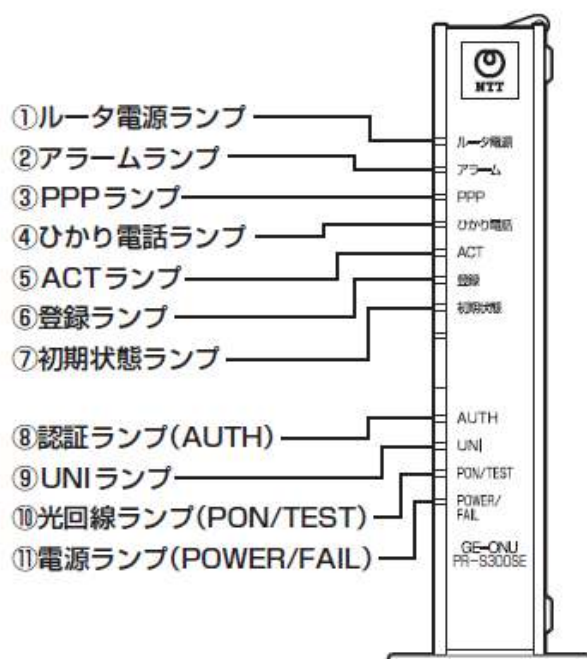
【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③ 拡張カードスロット	—	無線 LAN カード (SC-32NE) を装着します。 (●5-3 ページ)
④ 初期化スイッチ	初期化	設定を初期化するために使用するスイッチです。
⑤ LAN ポート	LAN1 ~ LAN4	LAN ケーブル (付属品など) を使用してパソコンと接続するためのポートです。
⑥ 電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。 (電話機コードは付属していません)
⑦ UNI ポート	UNI	通常はお客様によるケーブル接続は必要ありません。 本商品内のルータ機能部と接続されています。
⑧ 電源アダプタ端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。
⑨ 光ファイバ導入口	LINE	本商品と接続する光ファイバを導入する導入口です。 お客様は光ファイバ導入部分に触れないください。

2. PR-300SE/GE-ONU NTT 東日本

PR-S300SE/GE-ONU（本体が白色）の場合

●前面図



※ご使用のPR-S300SEによっては、本体正面のランプ名称が写真・イラストと異なる場合があります。

【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
① ルータ電源ランプ	—	消灯	ルータ機能部に電源が入っていません。
	緑	点灯	ルータ機能部に電源が入っています。
② アラームランプ ※「無線LAN簡単セットアップ」 実行中のランプ表示については 1-6 ページを参照してください。	—	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。※1 （「7 章 故障かな？と思ったら」（7-1 ページ）を参照してください。）
③ PPP ランプ	—	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1 セッション接続中です。
	橙	点灯	2 セッション以上接続中です。
④ ひかり電話ランプ	—	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
⑤ ACT ランプ	—	消灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できます。
		点滅	ひかり電話機能／ルータ機能でデータ通信中です。
⑥ 登録ランプ ※「無線LAN簡単セットアップ」 実行中のランプ表示については 1-6 ページを参照してください。	—	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。

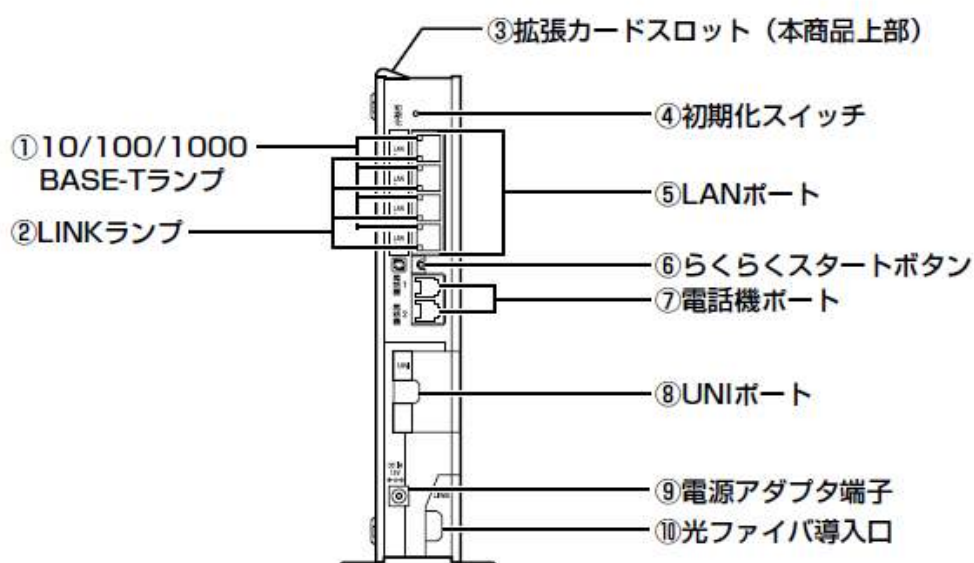
ランプの名称	表示 (色)		状態
⑦ 初期状態ランプ	—	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	工場出荷状態 (初期化された状態) です。※1 ※2
		点滅	IP アドレスが重複しています。 (「7-2 ご利用開始後のトラブル」(7-7 ページ) を参照してください。)
⑧ 認証ランプ (AUTH)	—	消灯	装置運用準備中または装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(7-1 ページ) を参照してください。)
	緑	点灯	正常な状態です。
⑨ UNI ランプ	—	消灯	内蔵の ONU 機能が利用できません。
	緑	点灯	内蔵の ONU 機能が利用できます。
		点滅	内蔵の ONU 機能でデータ通信中です。
⑩ 光回線ランプ (PON/TEST)	—	消灯	論理リンクダウン状態です。
	緑	点灯	正常な状態です。
	橙	点灯	装置運用準備中または装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(7-1 ページ) を参照してください。)
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード中です。※3
⑪ 電源ランプ (POWER/FAIL)	—	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
	赤	点灯	装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(7-1 ページ) を参照してください。)
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード完了状態です。※3

- ※ 節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプが消灯します。節電機能の詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。
- ※ 1 ルータ機能のファームウェアのバージョンアップ中はアラームランプが赤点灯、初期状態ランプが橙点灯します。(本書でのバージョンアップとは、本商品のルータ機能部分のファームウェアを本商品にダウンロードして更新することを指します。)
- ※ 2 本商品が工場出荷状態 (初期状態ランプ橙点灯) でも、電源を入れた後、ひかり電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「Web 設定」を行うと初期状態ランプは消灯します。
- ※ 3 ONU 機能のファームウェアのダウンロードに関しては、お客様に操作いただくことはございません。

【無線 LAN 簡単セットアップ】実行中のランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)	状態
登録ランプ	緑点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定準備中です。
	橙点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」で設定のため通信中です。
	橙点灯 (10 秒間)	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が完了しました。
アラームランプ	赤点滅 (10 秒間)	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定に失敗しました。

●背面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)		状態
① 10/100/1000 BASE-T ランプ (4個)	—	消灯	10 Mbps でデータ送受信できます。
	橙	点灯	1 Gbps/100 Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ (4個)	—	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。

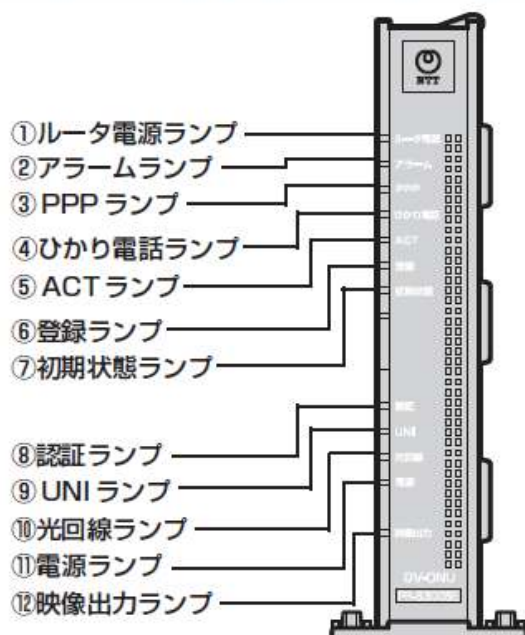
【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③ 拡張カードスロット	—	無線 LAN カード (SC-32SE または SC-32NE、SC-32KI、SC-32HI) を装着します。(●5-3 ページ)
④ 初期化スイッチ	初期化	設定を初期化するために使用するスイッチです。
⑤ LAN ポート	LAN1 ~ LAN4	LAN ケーブル (付属品など) を使用してパソコンと接続するためのポートです。
⑥ らくらくスタートボタン	らくらくスタート	「無線 LAN 簡単セットアップ」などの諸設定を起動するためのボタンです。
⑦ 電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。 (電話機コードは付属していません。)
⑧ UNI ポート	UNI	通常はお客様によるケーブル接続は必要ありません。 本商品内のルータ機能部と接続されています。
⑨ 電源アダプタ端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。
⑩ 光ファイバ導入口	LINE	本商品と接続する光ファイバを導入する導入口です。 お客様は光ファイバ導入部分に触れないでください。

3. PR-300SE/GV-ONU NTT 東日本

PR-S300SE/GV-ONU（本体が黒色）の場合

●前面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
① ルータ電源ランプ	—	消灯	ルータ機能部に電源が入っていません。
	緑	点灯	ルータ機能部に電源が入っています。
② アラームランプ ※「無線 LAN 簡単セットアップ」 実行中のランプ表示については 1-9 ページを参照してください。	—	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。※ 1 （「7 章 故障かな？と思ったら」（➡7-1 ページ）を参照してください。）
③ PPP ランプ	—	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1 セッション接続中です。
	橙	点灯	2 セッション以上接続中です。
④ ひかり電話ランプ	—	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
⑤ ACT ランプ	—	消灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できます。
		点滅	ひかり電話機能／ルータ機能でデータ通信中です。
⑥ 登録ランプ ※「無線 LAN 簡単セットアップ」 実行中のランプ表示については 1-9 ページを参照してください。	—	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。
⑦ 初期状態ランプ	—	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	工場出荷状態（初期化された状態）です。※ 1 ※ 2
		点滅	IP アドレスが重複しています。 （「7-2 ご利用開始後のトラブル」（➡7-7 ページ）を参照してください。）

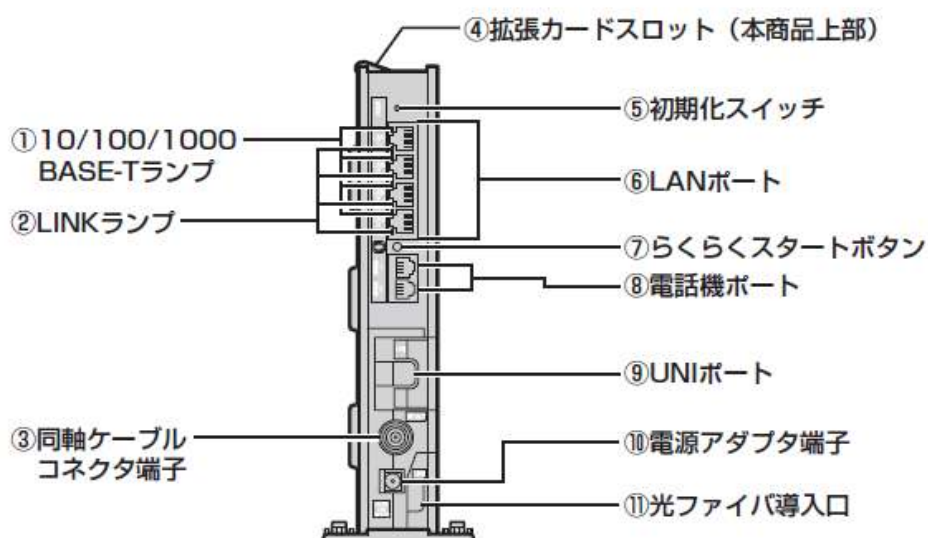
ランプの名称	表示 (色)		状態
⑧認証ランプ	—	消灯	装置運用準備中または装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-1 ページ)を参照してください。)
	緑	点灯	正常な状態です。
⑨ UNI ランプ	—	消灯	内蔵の ONU 機能が利用できません。
	緑	点灯	内蔵の ONU 機能が利用できます。
		点滅	内蔵の ONU 機能でデータ通信中です。
⑩光回線ランプ	—	消灯	論理リンクダウン状態です。
	緑	点灯	正常な状態です。
	橙	点灯	装置運用準備中または装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-1 ページ)を参照してください。)
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード中です。※3
⑪電源ランプ	—	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
	赤	点灯	装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-1 ページ)を参照してください。)
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード完了状態です。※3
⑫映像出力ランプ	—	消灯	映像サービスが利用できません。
	緑	点灯	映像サービスが利用できます。
	赤	点灯	映像機能故障状態です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-1 ページ)を参照してください。)

- ※ 節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプが消灯します。節電機能の詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。
- ※ 1 ルータ機能のファームウェアのバージョンアップ中はアラームランプが赤点灯、初期状態ランプが橙点灯します。(本書でのバージョンアップとは、本商品のルータ機能部分のファームウェアを本商品にダウンロードして更新することを指します。)
- ※ 2 本商品が工場出荷状態(初期状態ランプ橙点灯)でも、電源を入れた後、ひかり電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「Web 設定」を行うと初期状態ランプは消灯します。
- ※ 3 ONU 機能のファームウェアのダウンロードに関しては、お客様に操作いただくことはございません。

【無線 LAN 簡単セットアップ】実行中のランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)	状態
登録ランプ	緑点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定準備中です。
	橙点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」で設定のため通信中です。
	橙点灯 (10 秒間)	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が完了しました。
アラームランプ	赤点滅 (10 秒間)	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定に失敗しました。

●背面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)		状態
① 10/100/1000 BASE-T ランプ (4個)	—	消灯	10 Mbps でデータ送受信できます。
	橙	点灯	1Gbps/100 Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ (4個)	—	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。

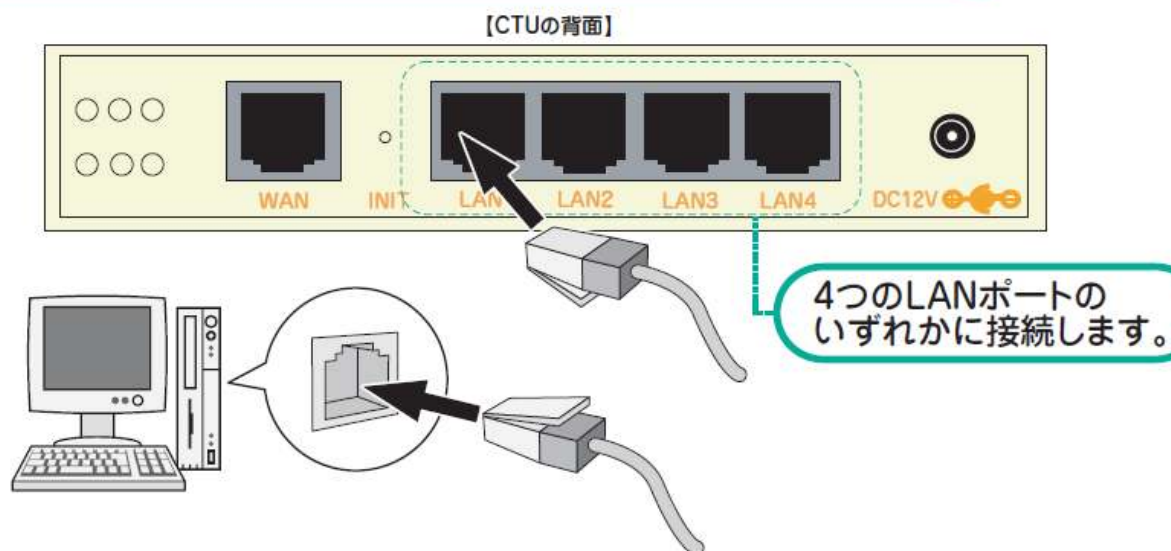
【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③ 同軸ケーブルコネクタ端子	RF OUT	映像サービスをご契約の場合は同軸ケーブルが接続されます。
④ 拡張カードスロット	—	無線 LAN カード (SC-32SE または SC-32NE、SC-32KI、SC-32HI) を装着します。(●5-3 ページ)
⑤ 初期化スイッチ	初期化	設定を初期化するために使用するスイッチです。
⑥ LAN ポート	LAN1 ~ LAN4	LAN ケーブル (付属品など) を使用してパソコンと接続するためのポートです。
⑦ らくらくスタートボタン	らくらくスタート	「無線 LAN 簡単セットアップ」などの諸設定を起動するためのボタンです。
⑧ 電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。 (電話機コードは付属していません。)
⑨ UNI ポート	UNI	通常はお客様によるケーブル接続は必要ありません。 本商品内のルータ機能部と接続されています。
⑩ 電源アダプタ端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。
⑪ 光ファイバ導入口	LINE	本商品と接続する光ファイバを導入する導入口です。 お客様は光ファイバ導入部分に触れないでください。

1. 「100M」「S」及び 2004W[S] NTT 西日本

【加入者網終端装置 「100M」「S」および 2004W「S」の場合

- ① LANケーブルは、カテゴリ5以上のストレートタイプを使用して、CTUとパソコンを接続します。



- ② CTUのLINKランプを確認します。

【CTUの前面】



LANケーブルを接続したLANポートの番号と、同じ番号のLINKランプが点灯していれば、正しく接続されており、リンクが確立されています。

点滅している場合は、リンクが確立し、フレーム送受信中の状態です。

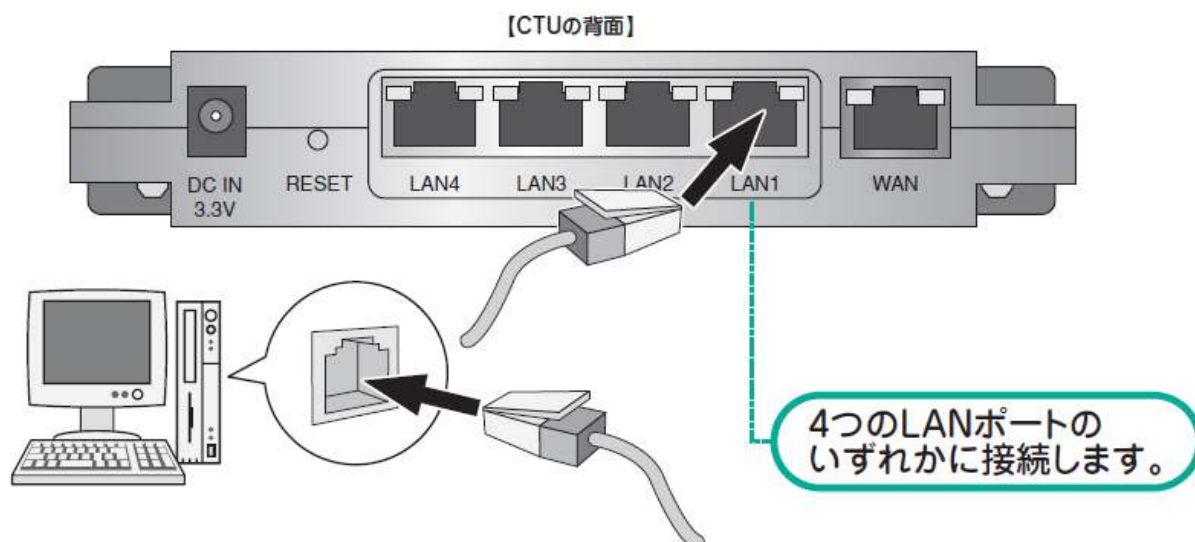
LINKランプ

※CTUに5台以上のパソコンをつなぐ場合は、別途HUBをご用意ください。HUBを使用した場合も、LINKランプが点灯すれば正しく接続されています。
※HUBについての詳細はHUBの取扱説明書をご覧ください。

2. 「100M」「H」及び 2004W[H] NTT 西日本

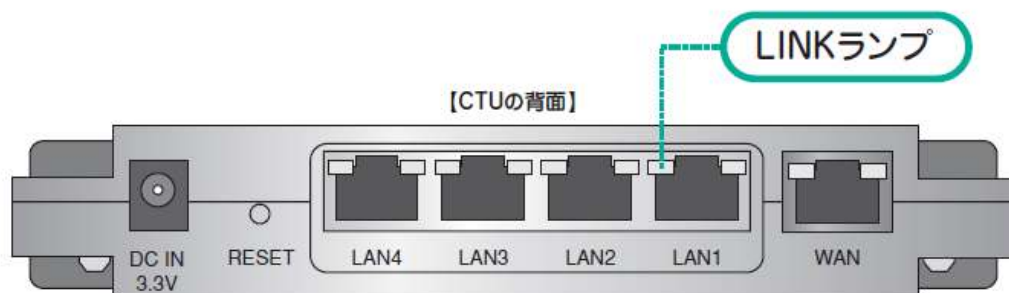
【加入者網終端装置 「100M」「H」および 2004W「H」の場合

- ① LANケーブルは、カテゴリ5以上のストレートタイプを使用して、CTUとパソコンを接続します。



- ② CTUのLINKランプを確認します。

LANケーブルを接続したLANポートの番号と、同じ番号のLINKランプが点灯していれば、正しく接続されており、リンクが確立されています。点滅している場合は、リンクが確立し、フレーム送受信中の状態です。



※CTUに5台以上のパソコンをつなぐ場合は、別途HUBをご用意ください。HUBを使用した場合も、LINKランプが点灯すれば正しく接続されています。
※HUBについての詳細はHUBの取扱説明書をご覧ください。

注意

※CTUに接続するPCのネットワークアダプタ、ルータ、ハブ等のリンク速度・全/半二重の設定は、「Auto」を選択してください。

資料 EX-F(CVT)改造時注意点

Rev. 2011/03/23

1. EX-F キットや CVT キットを取り付ける際の注意点

1-1. 取付け前に対象とするダーツマシンの状況を把握する。

1-1-1. 対象とするダーツマシンに対応した改造キットであることを確認する。

1-1-2. **筐体の安定度・強度に問題がないか**を確認する。

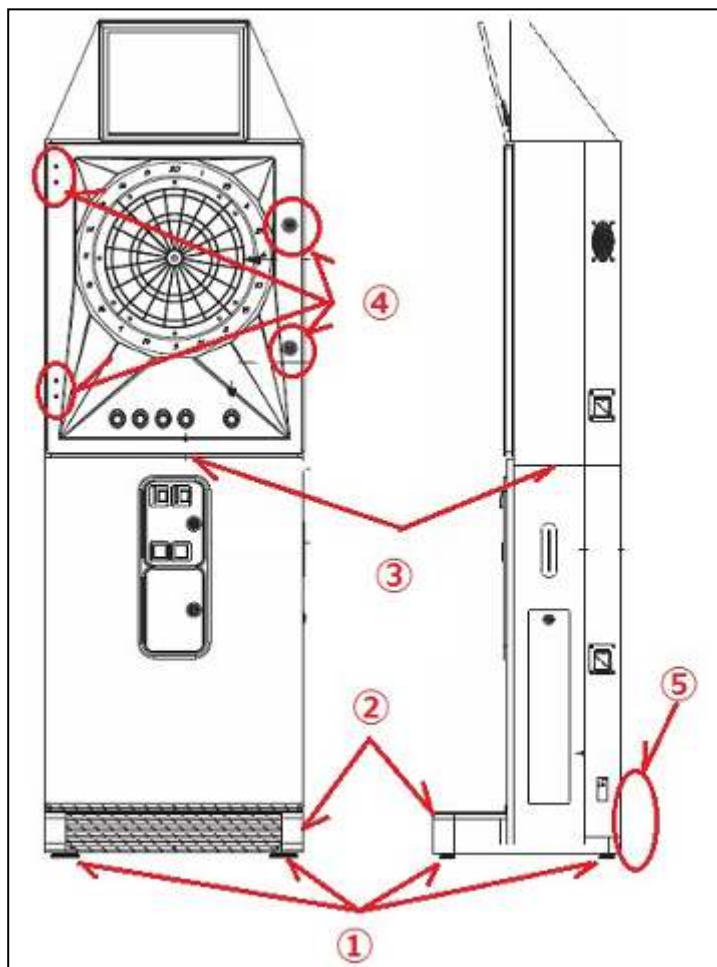
EX-F の場合、重心位置が上がる人が多いので、

対象となる筐体は、特に丈夫で安定した状態を維持している物であること。

以下の点は重要。

- ①底面アジャスター調整による水平安定度の確保
- ②ステップ固定による前側への転倒防止
- ③上下キャビネットの接続状態・強度
- ④ターゲットドアの取付け状態(ヒンジ・カギ等)
- ⑤背面下側の転倒防止金具(背面が壁でない場合)

図; e-TEC 例



1-1-3. 完動品か？

故障部位がある際は、改造後には使用しない部分であって、動作や安全性に影響しないと判断出来なければ、取付け作業はお勧め出来ません。

改造後にも使用する部分であれば、先に修理して動作・安全を確かめてから取付け作業に進むべきです。

例；電源が入らない。ターゲット横の蛍光灯が点灯しない。

→ AC(交流)100V 系の故障は危険です。

殆どは取付けが終了しても症状が好転しません。

⇒ EX-F キットや CVT キットが壊れます。

最悪の場合、感電や火災に繋がるので最も注意を要する。

1-1-4. 電気的な改造の有無を確認する。

改造されたり、きちんと修理されていないダーツマシンが多く存在します。

電源関係が改造されていたり、電線の色を考慮せずに修理したり、修理できていない等の機械を扱うことは危険です。

EX-F タイプ改造説明書では、改造されていない機器を対象にしているので、このような機器への取り付けは電気の知識・経験のある方(配線図を理解し、改造状況を把握して確実な作業が出来る方)以外は避けるべきです。

1-2. 取付け準備

メーカー・機種によって、同じ名称の機械でも、バックドアやサイドドアの寸法、モニター取付け穴の数・位置・径、電気配線・電気部材が異なります。

これらを改造前に確認し、準備することで、故障・事故の防止に役立ててください。



1-2-1. 電気部材と配線の確認(作業は電気の知識・経験のある方が対象です)

対象とするダーツマシンは、**使用している部材によって、電圧・配線の色が異なります。**
事前に、使用する部材の電源線を辿り、テスター等で使用している電圧を確認して
マーキングしておく等で、故障・事故を防止して下さい。



要注意項目;

- ① **AC(交流)100V 系**で、ターミナル部や端子台部の**配線及びネジ締め状態**がしっかりしていないと、漏電・感電・火災等の事故に繋がります。
- ② 対象機械の電源装置から AC100V 入力を取り外さなかった場合、その電源装置の出力線がショート(短絡)し、過熱・火花や煙が発生し火災等の事故に繋がります。
- ③ キットのターミナル(ML15-3P)部や電源装置の端子台部を利用した配線及びネジ締め状態。
間違えると、②と同様で、I/O ボードや電源装置の破壊・故障や事故に繋がります。
- ④ 不要なネジ・板金等を固定しない状態で筐体内のターミナルや端子台の傍に残しておかないこと。(ショート(短絡)・漏電の原因になる)



以上